建設文教委員会

開催日	令和2年9月9日
時間	午前9時30分～午後2時23分
場所	委員会室
出席議員	大塚 祥之、岡山 克彦、久野 茂、高橋 哲生 加藤 光則、林 真子、下堂 蘭 稔 (小崎 進一副議長)
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 宮崎企画部長 後藤企画部次長兼企画政策課長 舟橋人事秘書課長 平子総務部長 岩田総務部次長兼財政課長 永渕建設部長 大橋建設部参事 兼松建設部参事 飯田土木課長 瀬尾土木課課長補佐 長谷川都市計画課長 平野都市計画課課長補佐 佐藤都市計画課課長補佐 沢田都市計画課課長補佐 菅野上下水道課長 中野上下水道課課長補佐 木村上下水道課課長補佐 前田新清洲駅周辺まちづくり課長 齊藤教育長 加藤教育部長 西尾教育部参事 石黒学校教育課長 吉野学校教育課課長補佐 大沼学校教育課課長補佐 辻生涯学習課長 藤田生涯学習課課長補佐 齋藤生涯学習課課長補佐 浅野スポーツ課長 石田スポーツ課課長補佐 吉田学校給食センター管理事務所長
関係職員	浅田議会事務局長 高山議事調査課課長 鈴木議事調査課係長
議案または協議事項	1. 建設文教委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

皆さん、おはようございます。

定刻となりましたので、ただいまから建設文教委員会を開催いたします。

去る3日の本会議において建設文教委員会に付託となりました議案について御審議いただくわけですが、その前に小崎副議長から御挨拶を受けたいと思います。

副議長 (小崎 進一君)

皆様、おはようございます。本日は議長に代わりまして御挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、早朝より御苦労さまでございます。また、職員の皆様におかれましては、コロナ禍の中、日々お仕事御苦労さまでございます。

昨日たまたま市民の方から私のほうへ、コロナによる風評被害と収入減による先行きの不透明の御相談がございました。市といたしましても、できる対応を丁寧をお願いしたいと思います。

本日は建設文教委員会建設部所管の審議でございます。議案の慎重審議をお願い申し上げ、御挨拶に代えさせていただきます。

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

どうもありがとうございました。

続きまして、永田市長から御挨拶を受けたいと思います。

市長 (永田 純夫君)

改めまして、おはようございます。

本日は、委員の皆様方には建設文教委員会へのご出席、大変御苦労さまでございます。

今日は9月9日でございますけれども、明日、明後日、東海豪雨の日ということでございまして、市のほうもいろんなイベントを企画いたしておりましたけれども、コロナの関係で、人が集まるイベントについては、大変残念ながら中止ということになってしまいましたが、幸いにして報道関係が20年ということで、大々的に放送といいますか、記事にさせていただいておるということで、市民の皆さんも改めて東海豪雨のことについて知っていただき、そして、大規模災害への備えを感じていただいたというふうに感じているところでございます。市のほうもしっかりと防災対策に努めてまいりたいというふうに思っております。

本日は、付託されました案件につきまして慎重に御審議を賜り、全てご賛同いただきますようお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ありがとうございました。

傍聴者はおみえですか。

議事調査課係長（鈴木 栄治君）

一般傍聴人の方はおみえになりません。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

当委員会に付託された所管は、建設部と教育委員会の各所管です。審議日程といたしまして、本日、建設部の審査をしていただきまして、明日、教育委員会の審査をしていただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

なお、発議第4号の意見書（案）についても、当委員会に付託されておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、最初に、認定第1号 令和元年度清須市一般会計決算認定について、所管ごとに歳入歳出続けてご説明をお願いいたします。

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課長の前田でございます。よろしくお願いいたします。

令和元年度清須市歳入歳出決算の建設部所管分の歳入についてご説明させていただきます。

決算書の18ページ、19ページをお開きください。

13款使用料及び手数料、1項使用料、1枚はねていただきまして、20ページ、21ページをお開きください。6目土木使用料、予算現額計6千203万9千円、収入済額6千7万8千822円、1節道路橋梁使用料、2節都市計画使用料でございます。主なものといたしまして、水の交流ステーション使用料66万100円でございます。

続いて、2項手数料、1枚はねていただきまして、22ページ、23ページをお開きください。3目土木手数料、予算現額計92万1千円、収入済額75万8千600円、1節土木管理手数料、2節都市計画手数料でございます。

続きまして、14款国庫支出金、2項国庫補助金、1枚はねていただきまして、24、25ページをお開きください。5目土木費国庫補助金、予算現額計6億4千959万1千円、収入済額4億4千794万2千円、収入未済額2億164万9千円、1節道路橋梁費補助金、2節河川費補助金でございます。

3節都市計画費補助金のうち建設部所管分につきましては、社会資本整備総合交付金の都市再生区画整理事業1千600万円、同じく、市街地整備事業2億1千848万7千円、同じく、道路事業5千149万9千円、同じく、都市公園等事業1千100万円、市街地整備事業の繰越事業費充当財源で6千286万1千円でございます。

1枚はねていただきまして、26、27ページをお開きください。

15款県支出金、1項県負担金、3目土木費県負担金、予算現額計445万円、収入済額445万円でございます。1節土地区画整理費負担金でございます。

次に、同じく、2項県補助金、1枚はねていただきまして、28、29ページをお開きください。4目農林水産業費県補助金、予算現額計2千400万1千円、収入済額2千297万4千250円、1節農業費補助金のうち建設部所管分につきましては、単独土地改良事業補助金1千81万7千円、緊急農地防災事業補助金639万9千円、多面的機能支払事業補助金195万4千250円、排水機維持管理事業補助金181万9千円でございます。

次に、同じく、6目土木費県補助金、予算現額計6千164万3千円、収入済額6千183万762円、1節道路橋梁費補助金、2節都市計画費補助金、3節土木管理費補助金でございます。

2節都市計画費補助金のうち建設部所管分につきましては、あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金299万2千円、市町村土木事業費補助金（街路事業）2千550万円、同じく、市町村土木事業費補助金（公園事業）1千110万円、民間ブロック塀除却費補助金18万円でございます。

1枚はねていただきまして、30、31ページをお開きください。

3項県委託金、4目土木費委託金、予算現額計48万円、収入済額53万4千906円、1節都市計画費委託金でございます。

続きまして、2枚はねていただきまして、34、35ページをお開きください。

20款諸収入、5項雑入、2目雑入、予算現額計5億4千182万6千円、収入済額5億1千554万9千899円、収入未済額1千361万4千126円。

2枚はねていただきまして、38、39ページをお開きください。5節農林水産業費雑入のう

ち建設部所管分につきましては、土地改良施設維持管理適正化事業交付金1千350万円でございます。同じく、7節土木費雑入でございます。主なものといたしましては、愛知県施行水場川改修事業関連用地補償金1千567万6千958円でございます。次に、同じく、8節消防費雑入でございます。建設部所管分といたしましては、庄内川水防センター光熱水費負担金56万1千18円でございます。

続きまして、21款市債、1項市債、2目土木債、予算現額計9億7千450万円、収入済額6億7千450万円、収入未済額2億9千900万円、1節道路橋梁債、2節河川債、3節都市計画債でございます。主なものといたしましては、新清洲駅北土地区画整理事業債2億6千万円でございます。

以上が、建設部所管分の歳入でございます。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課長の飯田です。よろしく申し上げます。

続きまして、建設部所管の歳出について説明申し上げます。

決算書68ページ、69ページをお開きください。

4款衛生費、1項保健衛生費、1枚はねていただきまして、70ページ、71ページをお開きください。3目環境衛生費、予算現額6億4千775万5千円、支出済額4億4千221万7千267円、繰越明許費2億208万1千円、不用額345万6千733円、9節旅費から22節補償、補填及び賠償金でございます。建設部所管につきましては、市道西牧新田112号線等整備費1億7千506万8千円、市道野田町1号線等整備費966万7千円、市道五条川2号線等整備費990万円、市道朝日貝塚東線等整備費1千995万5千160円でございます。

1枚はねていただきまして、72ページ、73ページをお開きください。

3項上水道費、1目上水道費、予算現額338万2千円、支出済額338万2千円、19節負担金、補助及び交付金でございます。主なものといたしましては、名古屋市上下水道局水源施設負担金304万2千円でございます。

続きまして、6款農林水産業費、1項農業費、1枚はねていただきまして、74ページ、75ページをお開きください。4目農地費、予算現額1億1千309万4千円、支出済額1億1千174万5千791円、不用額134万8千209円、8節報償費から19節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものといたしましては、土地改良費5千718万3千296円でございます。

続きまして、78ページ、79ページをお開きください。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、予算現額1億1千338万円、支出済額1億1千201万3千853円、不用額136万6千147円、2節給料から19節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものといたしましては、繰越明許費繰越事業、地籍調査費726万円でございます。

続きまして、2項道路橋梁費、1目道路橋梁総務費、予算現額1千919万円、支出済額1千899万3千60円、不用額19万6千940円、12節役務費から19節負担金、補助及び交付金まで、道路橋梁事務費でございます。

2目道路維持費、予算現額3億857万円、支出済額3億576万4千316円、不用額280万5千684円、11節需用費から1枚はねていただきまして、80ページ、81ページをお開きください。16節原材料費まででございます。戻っていただきまして、主なものといたしましては、道路維持補修費1億9千628万5千710円でございます。

また、1枚はねていただきまして、80ページ、81ページをお開きください。

3目道路新設改良費、予算現額5千928万1千円、支出済額5千888万6千58円、不用額39万4千942円、11節需用費から22節補償、補填及び賠償金まででございます。主なものといたしましては、市道西田中蓮池線等整備費4千320万9千100円でございます。

4目橋梁維持費、予算現額5千10万8千円、支出済額4千906万9千488円、不用額103万8千512円、13節委託料から15節工事請負費でございます。主なものといたしましては、橋梁維持補修費3千609万8千340円でございます。

5目橋梁新設改良費、予算現額2億2千24万4千800円、支出済額1億216万2千800円、繰越明許費1億1千805万8千435円、不用額2万3千565円、13節委託料でございます。主なものといたしましては、船舩橋整備費5千200万円でございます。

3項河川費、1目河川総務費、予算現額2億7千362万8千円、支出済額2億7千355万1千798円、不用額7万6千202円、11節需用費から19節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものといたしましては、雨水貯留施設整備費2億6千141万8千300円でございます。

都市計画課長（長谷川 久高君）

引き続き、都市計画課から説明させていただきます。

同じく、4項都市計画費、1目都市計画総務費、予算現額1億6千642万9千円、支出済額

1億6千536万3千904円、不用額106万5千96円、1節報酬から1枚はねていただきまして、82ページ、83ページをお開きください。19節負担金、補助及び交付金まででございます。建設部所管につきましては、前ページになりますが、都市計画費の224万3千836円、都市計画基本計画費の656万7千円、もう一度82、83ページのほうになりますが、民間ブロック塀等撤去費72万2千円、小規模雨水貯留施設費2万6千600円及び都市緑化推進費299万2千円でございます。

2目土地区画整理費、予算現額11億8千70万9千円、支出済額9億5千72万5千685円、繰越明許費2億2千508万1千262円、不用額490万2千53円、1節報酬から22節補償、補填及び賠償金まで、主なものといたしましては、清洲駅前土地区画整理費のうち土地区画整理事業補助金で4千800万円と新清洲駅北土地区画整理費のうち土地区画整理事業費で7億1千24万7千738円でございます。

3目街路事業費、予算現額7千915万円、支出済額7千871万3千10円、不用額43万6千990円、11節需用費から22節補償、補填及び賠償金まででございます。主なものといたしましては、清須新川線整備費5千749万2千664円でございます。

4目鉄道高架費、予算現額4億2千248万4千360円、支出済額1億1千638万9千158円、繰越明許費2億9千783万146円、不用額826万5千56円、9節旅費から22節補償、補填及び賠償金まででございます。主なものといたしましては、西市場廻間線等整備費7千403万2千543円でございます。

5目公共下水道費、予算現額16億935万1千円、支出済額16億900万1千179円、不用額34万9千821円、1枚はねていただきまして、84ページ、85ページをお開きください。11節需用費から24節投資及び出資金まででございます。主なものといたしましては、公共下水道事業出資金8億2千850万7千円及び公共下水道事業雨水処理負担金4億7千280万円でございます。

6目都市下水路費、予算現額3千49万3千円、支出済額3千42万3千982円、不用額6万9千18円、11節需用費から15節工事請負費まででございます。主なものといたしましては、都市下水路等整備費1千807万3千円でございます。

7目公園費、予算現額1億9千613万9千円、支出済額1億9千406万1千332円、不用額207万7千668円、11節需用費から15節工事請負費まででございます。

主なものといたしましては、都市公園管理費9千474万6千371円でございます。

9 款消防費、1 項消防費、1 枚はねていただきまして、86、87 ページをお開きください。
4 目防災対策費、予算現額8千914万8千円、支出済額7千891万9千355円、不用額1
千22万8千645円、1 節報酬から1 9 節負担金、補助及び交付金まででございます。建設部
所管といたしましては、庄内川水防センター費394万4千968円でございます。

以上、建設部所管の歳出でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ただいまから審議に入るわけですが、質疑者、あるいは答弁者は必ず挙手をしていただき、指
名の後、名前を名のってから、質疑、あるいは答弁に入ってくださいますようよろしくお願いい
たします。

なお、質疑についてはページごとに行います。

それでは、まず、歳入。

18、19 ページ。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

続いて、20、21 ページ。

高橋委員。

高橋 哲生委員

高橋です。

土木使用料の道路占用料なんですけど、これは前年度に比べ1.2 倍ぐらいになっているんで
すけど、これについてご説明をお願いします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課長の飯田です。よろしく申し上げます。

平成31年4月1日付で料金の改定を行いましたので、それに伴う増額でございます。

以上でございます。

高橋 哲生委員

分かりました。結構です。

もう1点、都市公園の使用料なんですけど、これは3月の予算のときに都市公園の貸出しとか

を啓発したらどうだというようなことを私、お話しさせていただいたと思うんですけど、その際に庄内川の河川敷等、広大な空間があるので、そちらも啓発したらという話をさせていただきました。その中で答弁の中で、ホームページ等で工夫して啓発していくというような答弁があったと思いますけど、これはどういうふうに進捗されたのか、お願いします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課長、長谷川です。

3月にお話をさせていただいてから、コロナの関係で、公園の利用を少し遠慮というか自粛してほしいという話の中で、今、何も行ってない状況でございます。実際に草刈り等も十分に行われている状況ではないため、今後、コロナが終息して利用できるようになればPRのほうは考えていきたいというふうに考えております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

コロナということなんですけど、コロナの終息と言われたんですけど、なかなか大きなイベントということは言いにくいことかもしれませんが、終息というのも、いつ終息するかも分かりませんし、こういったコロナの間にいろいろなことができることがあると思うんで、そういった時間も利用して進めていただきたいと思います。

よろしくをお願いします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

続いて、22、23ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

加藤です。土木手数料をお聞きします。

ここで、屋外広告物許可手数料がありますが、75万7千200円、手数料はいろいろあると思いますが、申請件数というのはどれぐらいなんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課、長谷川です。

昨年度の申請件数は42件でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

許可地域等で屋外広告物を設置する場合は、許可の基準に適合した屋外広告物の設置許可を市に受ける必要があるわけですがけれども、愛知県が特に屋外広告に対して平成29年度に条例及び規則の改正を行って、特に安全点検の義務化というところが出てきたわけですがけれども、これは30年度からやられておるものがあるわけです。設置管理している方は広告物の劣化・損傷の状況を点検しなければならないとか、許可更新時に点検報告書等の様式を改正して出していくというようなことになっておりますけれども、安全点検が義務化されたことによって行政等の確認事項等も仕事としては増えとるわけですか。これはどうなんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

特に点検のほうは県の方と毎年行っておりまして、それ以上に増えてるということは今のところございません。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

台風とか自然災害も非常に増えてきて、安全問題が課題となって条例等も改正されて、点検という項目が起きたわけですがけれども、市としてはその辺のことについては何かお考えはあるわけでしょうか、お聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

屋外広告の申請につきましては、愛知県の条例に基づいてやっております、基準としては愛

知県の基準でやっております。手数料は市のほうにいただくということになっておりますので、申請の勧奨をする際とか更新の手続を行っていただく際に点検等を行っていただくようなPRのほうはしていきたいと考えております。

以上です。

加藤 光則委員

よろしく申し上げます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

22、23ページ、よろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

続いて、24、25ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

24ページの14款国庫支出金の2項国庫補助金、5目土木費国庫補助金、3節の都市計画費補助金についてお聞きします。

予算に比べて減額が大きいわけですがけれども、これについても御説明をいただきたいと思えます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課、前田です。

国庫補助金につきましてですけど、まず、まちづくり課所管分の社会資本整備総合交付金、こちらの市街地整備事業でございますけど、国の内示率のほうがうちの要望額に対して75.4%の内示率、道路事業、こちらのほうも内示率が全体で52.3%、国庫のつき状況が悪いということで若干減額になっているということになります。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今、御説明で、内示率で非常につきが悪かったということを言われたわけですが、特に備考欄の社会資本整備総合交付金の道路事業の部分、先ほど52.3%と言われたんですが、2億9千948万2千円が5千149万9千円になっておるわけですが、額的にはすごく減額されたわけですが、このことについてはどういうふうにお考えでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課、前田です。

こちらの事業につきましては、県のパッケージ事業でございまして、高架事業の関係の事業費として交付していただいておりますものになるんですけど、全体事業の中で割当てのつきが悪かったということで、重点事業ではあるんですけど、今後、つきがよくなるように県とか国のほうには要望をかけてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

つきが悪かった額の差が非常に大きいものですから、また後で歳出のところでのこの件についてはお聞きしたいわけですが、やはり予算立ててしっかりやっていく必要があると思いますので、入りの部分は非常に大事だと思いますので、しっかりその辺は精査してやっていただくよう、よろしく願いします。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

24、25ページ、よろしかったですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

続いて、26、27ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

続いて、28、29ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

続いて、30、31ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

続きまして、34、35ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

歳入最後になります、38ページ、39ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

では、続いて、歳出に入ります。

歳出の68、69ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

70、71ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

続いて、72、73ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

74、75ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

続いて、78、79ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

78ページの1項土木費の1目土木総務費、地籍調査についてお聞きします。

地籍調査というのは、地籍調査で作成された地籍図及び地籍簿は、その写しが登記所に送付さ

れて、登記所において地籍簿を基に土地登記簿が書き改められて地籍図が不動産登記法第14条第1項、地図として備え付けられる、こう言われているわけですが、一方で、この地籍調査は、あくまで隣接所有者等立会いの下、境界を確認して調査するもので、市町村が民地と民地の境界を決めるものではない、こういうことも言われておるわけでございます。

この間、地籍調査はずっと進められてきておるわけですが、調査結果を都市計画、農林政策、税務など、土地の完成する行政分野で活用していくことになると思うわけですが、近年、コンピュータがいろいろ技術が進歩して、そういう利活用が行われていると思うわけですが、本市でもこの調査をすることによって、農林や税務や都市計画というところでの共有をこの調査結果というの図られとるわけでしょうか、お聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

答弁。

土木課課長補佐（瀬尾 光君）

土木課課長補佐、瀬尾です。

税務課においては、登記した後、そのデータを税務課のほうに移しております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そうすると、民地と民地の境界を決めるものではないということも一方ではあるわけですが、地籍簿になるわけであります。その辺はどういうふうに理解していったらいいのかということをお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

瀬尾課長補佐。

土木課課長補佐（瀬尾 光君）

瀬尾です。

地籍簿につきましては、土木課のほうで保存してありますので、住民の方が見たい、その土地の所有者の方が見たいというときには閲覧をしていただいております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

民地と民地の協会を一方では決めるものではない。きちっと立会いしてやればいいいわけですが、その辺でのトラブルというか、いろいろ見れるもんだから、何か弊害になるようなことは今までは起きてないですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

瀬尾課長補佐。

土木課課長補佐（瀬尾 光君）

地籍調査の中で隣の方と隣の方のトラブルに発展するような大きな出来事はありません。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

それから、調査については前もお聞きしたわけでありますが、平成30年度の年末時点で全国的な調査が52%。しかし、愛知県が13%、清須市は今、一生懸命やられとるわけですがけれども、今、見ると8%ということが載っておりました。この地籍調査の事業というのは、国・県・市が負担して、住民の方の費用負担はないわけですがけれども、市町村が地籍調査の実施主体である場合は、経費の約2分の1を国が、4分の1を県が、残り4分の1を市町村が負担する、こう書かれているわけですがけれども、また、都道府県が主体である場合は経費の2分の1が国が、残りの2分の1が都道府県が負担すると。実施主体が土地改良区や土地区画整理組合である場合は経費の3分の2を国が、6分の1を県が、その6分の1を実施主体が負担する、こういうことで、負担割合もその調査によっていろいろ変わってくるということらしいですがけれども、本市の地籍調査の進め方はどういうふうを考えられて今、進められているのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

瀬尾課長補佐。

土木課課長補佐（瀬尾 光君）

瀬尾です。

まず、御地元からの要望をいただいてから地籍調査とは何かということを説明会をいたします。そして、皆様が御協力いただけるような形であれば、その地区を地籍調査の地区として県に申請しております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

それで、全国的に比べて愛知が低くて、清須は今、頑張っておられておるわけですが、この地籍調査状況マップ、これを見ると、今、春日のほうが中心で行われておるわけでありまして。それで、繰越明許にも蓮花寺地区が載っておったわけですが、財源問題もあるわけですが、今、御地元からということも言われたわけですが、今後の進め方としては、今、御地元からだけで、行政からやっというところは今のところ考えられてないのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課の飯田でございます。

まず、地籍調査を実施するにあたり、地元の地権者さんたちの熱意がないとどうしてもこの事業というのは進められないというような状況ですので、あくまで御地元の方が、よし、やるぞというような、そういった意志がある場合に限り、うちのほうも積極的にお手伝いをしていきたいと考えております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

いろいろ都市計画や税務など土地に関することで調査することによって、曖昧だった部分がいろいろ分かってくるわけでありまして。本市の場合は、今、区画整理をやられたり、下水の工事をやられたり、いろいろな形で、ある意味、同時に進めていくほうがいいかなと思うようなことが多いと思うわけですが、あくまで今のところは御地元からのということの政策的な考えだということに理解しておきます。分かりました。ぜひ、これも進めていただきたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

林です。

道路維持費のところでは2点ほどお聞きしたいと思います。

まず、1点目は、鉄道駅自由通路維持管理費のところなんですけど、青い本の227ページのところですけども、これは確認なんですけれども、前年度と比べまして光熱水費がかなり下がり、委託料が上がっていると。本年度の予算ではまた光熱水費が上がって、委託料が割とそのままと、この辺の金額の推移というか、違いというのはどのような内容でしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課長の飯田でございます。

まず、光熱水費につきましては、どうしても自由通路ですので、エレベータ・エスカレータとかの動きの需用費が増減されるということもございますので、そういったことを含めて修繕費、その他で増減するという要因が考えられます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

委託料もそういう関係で変わってくるということでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

委託料につきましては、まず、自由通路が開通してから長期契約を結んでおりまして、長期契約が完了したということで、再度、長期経過を結びまして、そのときに料金がどうしても見直されたものですから、その上昇分によって委託料については上昇しております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

分かりました。

もう1点、街路灯費についてお聞きしたいと思います。

これは今の青い本の229ページでございますけれども、まず、LEDに替えてリースになっ

たんですけども、この変更によって電気代が約半分ぐらいになったのかなという認識をしているんですが、そういうことでよろしいでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

電気代というか、分析した結果なんですけど、管理費、修繕費、電気代等を含めて総括的に見るとですね、LED化することによって約66%、約3分の2になっております。それはリース代も含めた検討でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

すごく効果があったということでよかったと思います。

少しずつ毎年、いろんな地域の要望等で街路灯が増えてきて、この分については市が設置してずっと管理していくと分かるんですけども、今すごく区画整理ですとか、いろいろやっております、かなりの本数がこれから増えてくると思うんですね。そうすると、これについてもどのぐらいの単位になるか私は想像がつかないんですが、この10年のリース契約の改定のときもあるかと思うんですけども、一応、今のお考えとしては、これ以外これから随時増やしていくものについては、市のほうで直接管理していくという考え方でよろしいでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

あくまでリースはその時点での本数で固まっておりますので、それ以後の新設、要するに追加の街路灯につきましては、市が設置して市が管理していく物件でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

基本の考え方は分かりましたけれども、これから大幅に本数が変わってくるということであれ

ば、また、ぜひいろいろ管理も含めて見直していただきたいと思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

下堂 薫 委員。

下堂 薫 稔 委員

下堂 薫 です。

今、林委員のお尋ねになった道路維持費の件ですけど、私の居住している阿原地区なんですが、東海豪雨以降、地盤沈下がかなりひどくて、至るところに陥没しているところがあるんですね。この委託の中で測量業務及び設計業務とありますけど、そういう地盤沈下の測定とか測量というのは東海豪雨以降実施されたことはありますか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田 課長。

土木 課長（飯田 英晴 君）

地盤沈下を主目的の調査はしてませんが、管渠、水路等の陥没等で皆さんの通報及びパトロール等で発見した際には調査を行い、原因等を改善していております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

下堂 薫 委員。

下堂 薫 稔 委員

やはり住民・市民の方々が安心して安全で生活を行っていく上にも、家の扉が開かなくなったとか、トイレが傾いて排水がうまくいかないとかいう話を多々聞いておりますので、もう少し市民目線で立ち会っていただきたいと思いますけど、よろしくお願いします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤 委員。

加藤 光則 委員

その上の道路橋梁費、1目道路橋梁総務費1千899万3千60円ではありますが、この中身を伺いたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田 課長。

土木課長（飯田 英晴君）

道路橋梁事務費につきましては、まず、道路賠償保険、そして道路等工事を行った場合に、道路台帳の更新作業等が主な内容でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今年度の予算からすると少し変わってきておるわけですがけれども、例えば、道路橋の定期点検支援業務というのがあるわけですが、その辺での予算と決算との差異というのはどの辺が主に出てくるんですか。道路点検支援業務、これは随契で大体額は決まってくると思いますが、これもここに入るわけですよ。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

今の点検業務につきましては、80ページ、81ページの4目橋梁維持費の中の橋梁点検費で計上させていただいておまして、あくまで一昨年度1千万円から1千800万円ということで800万円ほどの増額があるんですけど、こちらにつきましては、開かずの踏切対策ということで、40分以上開かずの踏切がございまして、その踏切が庄内川の右岸の名鉄本線の踏切が指定されましたので、その踏切対策の業務として昨年度計上させていただきましたので、800万円ほど増額しているのが主な要因でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今、新たにお聞きしたわけですが、開かずの踏切の対策ということで、40分ということで、今、庄内川右岸と言われた、その辺では、あそこは犬山線と両方あるから大変そういう状況かなと思うわけですが、市内では1か所だけですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

市内では今のところ1か所だけです。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

その辺で、今後、国や県、自治体としても開かずの踏切をどうしていくかということ进行调查して次の段階へ行くということで、今、何か具体的に考えられているようなことってあるわけでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

今はまず分析をしまして、それによって今後どういった計画、どういった対策を練っていくかという計画をつくっている段階でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。

その下の2目道路維持費のところ、先ほどから皆さんがお聞きになって、私もお聞きしたいわけですが、道路ストック点検費の事業内容、これは点検を実施した上で修繕計画を策定したとして、委託料として舗装点検業務として1千373万6千800円の事業費が出ているわけですが、その内容を教えていただきたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

道路点検は、昨年度につきましては、1級市道の約18キロの道路の点検を行っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

この道路点検業務というのは、毎年、指名競争で行われておるわけですが、今、言われた18キロということで、距離によって業務の事業費というのは出てくるわけですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

距離によって委託料の金額は変わってきます。1級、2級につきましては5年に1回、その他路線については10年に1回ということで、そういった指針が決まっておりますので、その指針にのっとり、できるだけ平準化して点検を行うように心がけております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

点検の実施には車上から目視、歩いて見ると機械を用いた点検、いろいろあるわけですが、特にまちの中を走っておるとアスファルト舗装のメンテナンス、いろいろ考えていかないかなと思うようなことも思うわけであります。特にアスファルトの場合、路面以下の層が破損しないような管理を目指すということが大事かと思うわけですが、そのためには適時修繕して、修繕間隔を延ばしていくようなことに取り組まなければならないと思うわけです。その意味で5年、10年いろいろあるということを言われたわけですが、道路維持管理のほうは、これを見ると清掃業務の委託があるわけですが、この委託について、成果報告の227ページに書かれておるわけですが、これの内容を伺いたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

道路清掃の委託内容につきましては、主にですが、堤防道路の市道の部分の延べ1メートル部分の草刈り業務、そして歩道等に設置しています街路樹等の剪定及び消毒業務が主な内容でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そうすると、こっちのほうというのは、草刈りとか樹木ということですね。お聞きしますけれども、そうすると、道路のほうで見ると、先ほど点検もあるわけですが、道路台帳のほかの更新作業委託、これもまたあったわけですけど、これはどういうことをやられたわけですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

道路台帳の更新作業というのは、あくまで工事によって道路の形態が変わることによって、道路台帳を修正する。例えば、路肩に側溝を入れることにより幅員が変更になるというような細かな地図訂正を行っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

それに基づいて道路ストック点検、基になる台帳ですから毎年やられるわけでしょう。

土木課長（飯田 英晴君）

はい。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

それでお聞きします。

道路維持の補修ですね、工事請負費が1千918万4千621円となっておりますけれども、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づく修繕工事ということになっておるわけですが、今のところ業者を頼んで点検もあるわけですが、市民の方の通報なんかは今スマホを使ってやられておるわけですのでいろいろ寄せられておると思うわけですが、新たな方法も加えられて、予算立てとして市民からの通報も増えて伸び取る傾向になるのかどうなのかということをお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、今年度から運用されましたスマホ等で、穴が開いているよという、そういった通報は多いのは事実でございます。通報によってまず現場作業員に応急処置をしてもらって、その後、経過を観察しながら、もしそれでも収まらないようであれば、業者とかの対応をとっております。

ストックにつきましては、路線での判断ということで、どうしても市民からの通報となりますと、私たちとしては局部的な意味合いもありまして、そういった局部的に直すようなイメージがありますし、道路ストック点検によるそういった判定による修繕というのは、路線を基準として補修を考えております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

本当に市内もいっぱい道がありますから、どうしても今、課長が言われたように、生活道のほうが市民の皆さんはたくさん声は上がると思います。路線のほうも名古屋へ向かっていく基幹道も多いわけですし、重要な道路もあるわけですけれども、あつてはならんことですが、せんだつてのように車に傷がついたというようなことも今後いろいろ市としても対応していかないかん部分があるかと思うわけですけれども、その辺では新たに対応マニュアルというか、対応の在り方については土木課としても何か考えられているようなことがあればお聞かせいただきたいと思ひます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

対応マニュアルということまではいきませんが、スマホ等の目撃状況をいただいた際には速やかに現場のほうの確認を行うとともに、その日のできることはその日でやる。もしくは、その日でもどうしてもできなければ、赤コーンとかバリケードとかで囲うとかということで、できるだけ未然にそういった事故を防ぐような対処を心がけております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

私もいろいろ見ていると、以前に比べてものすごく対応が早いなという気はしています。一生懸命やられとるなというのはよく分かりますので、本当にあってはならんような事故は未然に防げるようなところはしっかりやっていただくということをお願いしておきたいと思います。

それから、道路と歩道の関係でお聞きしたいわけですが、特に幹線道路や何かになると歩道があるわけです。歩道の平たん部の確保について1つお聞きしたいんですが、歩道面にはやはり車椅子使用者等の安全な通行を考慮して平たん部分、これを設けないかんわけですが、広く連続して確保していくということが大事なわけですが、何か基準があると思うわけですが、市としてはどういうふうに対応されておるのかなと。

というのはですね、皆さん、車で出入りされるわけですので、民地の乗り入れの部分をどうしても歩道を横切るわけですよ。それが歩道として考えた場合、連続性で平たんになってないといけないわけですが、それぞれの御家庭で乗り上げ部分で勾配をかけられたりすると、歩道が平たんじゃないんですよ。最近、お年寄りとか車椅子の方が非常に難儀をされとる声を聞くわけですが、一応いろいろ決まりで、勾配はどのようのとかいろいろあるわけですが、市としてはどういうふうにその辺は気をつけられておるのかということをお聞きしたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、交差点とかの車道から歩道への乗り入れ部分については、以前、バリアフリー等の対応で、今までブロックを1段で落とすのを2段で落とすことよって坂を緩くするといった工事を進めておりました。

また、今、議員がおっしゃられるような乗り入れについてですが、フラットの歩道であれば、今、御指摘のような状況はないんですが、マウンドアップという歩道が1段上がったおるような部分ですとどうしても車の乗り入れの際は段差ができますので、そういった場合はできる限り民地側から少しでもフラット部分をキープしていただいて、車道に向けて下げていただくように指導は行っておるのが現状でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

その状況状況によって歩道の広さもありますし、民地との関係もあるわけですけど、一応、基準みたいなのはありますが、決まりがあって確認されて歩道を舗装されておるのか、その辺どうでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、道路管理基準というのがございますので、それに基づいて市のほうとしては指導を行っているんですが、どうしても現場現場でその基準に合わない部分というのがありますので、そういったときはケース・バイ・ケースですね、指導及び協力を求めて、できる限りフラットな部分を維持するように心がけております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

また、改めて個別の部分でお話をしたいと思えますけども、道路は大体まっすぐに平坦にいったるんですよ。歩道の部分になると道路から民地に真っすぐになつてるとるんです。それで、歩道をずっと見ると凸凹なんですよね。だから、車椅子とか手押し車とか、いろいろ高齢者の方々が歩いておる姿を見ると、歩道は波うつとるから歩道よりも道路へ行ったほうが良いということをお聞かれますので、その辺も今後やはり整備していく上で、一度新たに視線を変えて見ていただいて、優しい歩道づくりを進めていただきたいと思いますということをお願いしておきます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

80、81ページに行く前に15分間の休憩を取りたいと思えますので、10時50分に再開ということで休憩に入りますので、よろしくお願ひします。

（ 時に午前10時38分 休憩 ）

(時に午前10時50分 再開)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

休憩前に続きまして審議を行いたいと思います。

飯田課長。

土木課長 (飯田 英晴君)

土木課長の飯田です。

先ほど街路灯について御質問をいただいたときの発言で訂正させていただきたいんですけど、区画整理地内、今、事業中の場合は、区画整理の事業者にあくまで原則設置していただく。道路を移管された後は市のほうで設置するというので、すみません、説明が足りなかったものから、今、訂正させていただきます。

すみません、ありがとうございました。

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

では、続きまして、80、81ページ。

林委員。

林 真子委員

林です。

では、橋梁維持費の件でお聞きしたいと思います。

先ほど加藤委員のほうからもありましたけれども、青いほうの231ページのところにございますけれども、まずは、これを見ますと、令和元年度は野田町橋の設計、そして蓮花寺橋の工事、そして本年度は北野橋の設計で野田町橋の耐震補修ということで計画的に進められていると思うんですが、まず、橋梁の長寿命化修繕計画というのが持たれていて、それに基づいてやられていると思うんですが、この件で何点か確認をさせていただきます。

まず、市の管理している橋梁の数をお聞かせください。

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

飯田課長。

土木課長 (飯田 英晴君)

土木課長の飯田でございます。

まず、市が管理している橋梁は61橋なんですけど、現在、白弓橋が整備中ということで、実質は60橋の管理でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

60橋とかなりの数、大小様々いろいろあると思うんですけども、その中で、点検を順番にされていて、ばらつきはあると思うんですが、一番直近の点検の中で、例えば、すぐにこれは補修しなければいけないとか、危険だという橋、それから緊急度はないけれども、修繕が必要な橋というのはこの中でどのぐらいありますかでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、緊急度が高い橋梁というものは、点検結果ではございませんでした。

ただし、予防的に補修したほうがいいという、そういった点検結果が出ている橋梁につきましては10橋ほどあります。その10橋の中の橋梁を計画的に補修をしているというのが今の現状でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

これは予防保全というか、道路も同じなんですけど、そういう中で計画を立てていただいて、コストも平準化しながらということで、とてもいいことだと思うんですけども、今、私、令和2年の北野橋と野田町橋もお話したんですけども、それ以降の計画があればお聞かせください。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

北野橋の後は新川小橋の補強工事を今、考えております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

ずっとやっていただいて非常に期待しているところなんですけれども、その中で、この修繕計画では定期点検をされて、それで日常点検をされて、それで今、補修なり整備を耐震化でされるということなんです、それぞれどなたがそれをされているのかお聞かせください。定期点検、それから日常の点検、補修についてはもちろん発注されるわけですけど、その辺、お聞かせください。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

定期点検につきましては、愛知県の都市整備協会のほうに委託でお願いしております。また、日常点検につきましては、職員のパトロールによる簡易点検を行っております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

それで定期点検の結果と日常点検の結果というのは、ある程度リンクさせるというか、そこが必要だと思うんですが、日常的に職員さんが点検をされる中で多少のひび割れですとか、はげるとか、いろいろなことがあったときに、すぐに今の県のほうと連携を取れるようになっているんでしょうか、最初に計画を点検されたところと。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

日常点検で発見するような項目としては、舗装の剥がれとかさび及びコンクリートの角が剥離しとるよとかいう簡易的な発見が主ですので、そういったものが随時補修等を行っておりますので、また、定期点検でそういった指摘がある場合は、大規模な修繕ということで行っておりますので、規模が違うという面があるんですけど、小規模についてはその都度直せるように心がけております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

私、この質問をさせていただいたのは、道路もそうなんですけども、橋の安全性ですごく大事で、今の点検結果とか修繕計画の中でも、人間でいうと高齢な50歳以上の橋が幾つかあるわけです。そうした中で、日常の点検の中にもしっかりと見るべきところを見ていただきながら、より事前にひどくなる前にということが必要だと思いますので、そういった意味では職員さんたちの日頃の点検でノウハウとかスキルを磨いていただくわけですけれども、非常に日常の点検で大事になりますので、その辺を課題として、自治体によっては点検から全部民間に委託しているところもありますし、逆にもっと連携を深めて、最初に県が点検するわけですので、日常にも連携を取りながらという動きも出てきているんですけども、その辺、職員は異動もありますし、これだけの橋を日常的に管理していくのは大変だと思うんですけども、今後の考え方として、その辺、課題としてどうでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

日常点検ですと、60橋ほど現在ございますので、そういったことで委託とかをかけると費用の面もございます。また、議員がおっしゃられるように、専門の方に頼んだほうが、より見落としがないという御指摘もごもっともだと思っております。そういったことで、研修とかあれば積極的に職員が参加して、少しでも知識を高めていただくように努力しているのが現状でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

ぜひ、日常の点検の中で気づいたことをストックはされておると思うんですけども、これはしっかりと記録として残していただきながら、大事な橋ですので、安全を確保するためにこの計画に基づいて今後とも頑張っていただきたいと思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

3目道路改良費、お聞きします。

市道の西田中蓮池線の覆蓋ですね、歩道の設置、これは当初5千万円だったのが4千320万9千100円ということになってます。それから、もう1つは水場川の改修工事に伴う既存の市道の移設、用地購入が当初2千280万円だったけども、1千444万1千659円、これは減額されとるわけですが、この中身について、予算に対してどういうことなのか説明いただきたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、西田中蓮池線につきましては、こちらは県からの補助金によって整備を行っております。昨年度につきましては、補助金等の減額に伴いまして事業の精査をさせていただき、減額させていただいております。

また、市道流新田1号線のほうにつきましては、うちのほうで公有財産を購入するということで予算は組まさせていただいておるんですけど、100%愛知県からの補償金が頂けるシステムになっておりまして、愛知県の予算に合わせてうちのほうが減額をしたものでございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

県の予算の中で精査してこうなったという理解ですけれども、例えば、西田中のところだと歩道の設置ですので、当初これだけでいいふうにしようと思ったけど、県の精査によりこうなったということで、地元の人たちが期待しておるような歩道になっておらんといかんわけですけれども、予算に対しての事業を行ったということですのでけれども、その辺では問題ないわけですね。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

整備規模としましては同じ規模で行っておりますので、次年度に延ばせれるような工事とかは選んで、次年度引き続き行くとかの調整をして、できる限り同じような、同じような整備で行っ

ておるのが現状でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

しっかりその辺はやっていただきたいと思います。

それから、4目橋梁維持費のところでお聞きします。

橋梁点検費の委託料が1千270万7千698円ということになっています。先ほど林委員のほうからも質問があったわけですが、橋梁の点検ですね、委託料になつとるから契約はどういうふうになっておるかなと思ったら、県の都市整備協会だということで、そうすると、この委託というのは契約はどういうふうになるわけですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

愛知県の都市整備協会とはですね、協定書に基づいて締結して事業のほうを業務委託しております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そうすると、普通の事業についてはいろいろ随意契約なり契約実務があるわけですがけれども、市内の60橋については全部ここの協定でやっていくんだと。毎年この額の委託が大体必要になってくるんだという認識でよろしいでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

そうですね、できるだけ平準化して、その年度年度での協定を結んでおるとというのが今の現状でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そうすると年度年度の協定ですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

そうです。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。年度年度に委託料の額を決めてやられると。その中での協定ですので、愛知県全体でやられと思うわけですけれども、協定の中の規則とか、そういうのは決まっておるわけですか、大体これぐらいの橋だとこれだけの委託だよとか、これぐらいの距離でいくのかどうなのかということなんですが。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

愛知県のほうでそういった統一単価、統一步掛かり等を設けておりますので、県内においては同一な単価になるようになっております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

それでは、その下の橋の続きで、橋梁新設改良費のことでお聞きします。

県が実施している開始に伴う整備計画に基づいてこの工事が行われてきたわけですけれども、例えば、整備の中身を見ると橋梁の改修費ですね、当初は船入と白弓橋で1億8千万円だったわけですけれども、いろいろな事情があって工期が変わってきた部分があって、橋の上物とか下物とかいろいろ予算がされたわけですけれども、結局、船杖橋はようやく立派なものになったんで

すけれども、当初予算が1億6千万円だったわけなんですけど、結局、繰越明許とかいろいろやられて、船橋橋架け替えについては額的には幾らになったんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

船橋橋につきましては、概ね8億4千万円ほどの建設費用がかかりました。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

その財源の内訳みたいなのはどういうふうになるんでしょうか。ざっと分かる範囲でいいです。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、一番最初に国庫補助金のほうを充てることを心がけておまして、どうしても国庫補助金の要望額に満たない場合は財政当局と御相談させていただいて、起債を張っていただく。そして、最後、一般財源等を用意していただくというような順番で行っております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そうすると、ざっと8億4千万円かかったと。当初の見込額と、それからうちの持ち出し額との関係で、もう少し中身についてお聞きしたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、国費につきましては、55%が上限になっておるんですが、要望額55%で上げさせていただいているんですが、ほぼ満額ついてないというのが現状でございます。そういったときに起債を用意していただいておりますので、詳しい内訳は申し訳ないんですけど、今の手持ち資料

では把握しておりません。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

後からまた資料で教えていただきたいなと思いますので、委員長、よろしく申し上げます。

続きで、3項河川費、1目河川総務費、雨水貯留施設整備費についてお聞きしたいと思います。

まず、管理費456万円についてお聞きしますけれども、これは保守点検業務委託のことなのかどうなのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

半分以上の費用の割合としまして保守点検、清掃業務があります。それプラス電気代等が含まれております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

1つはですね、今、雨水貯留施設を見ると、オープン調整池と、それから地下貯留といろいろあるわけですが、この辺のところの業務の中身というのはどういうふうになっているんでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

今回、雨水貯留施設管理費で計上させていただいているのが、主にポンプアップして排水しなければならない施設を中心に業務委託を行っておりますので、そういったグラウンド貯留とかの場合ですと、柵の堰を開けたり閉めたりということで、そういったものは職員のほうでやったりしておりますので、電気設備等を中心に委託のほうは行っております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そうすると、委託もそれぞれの場所ごとに行っておるのでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

それぞれではなくて、地区とかそういった感じで、近いところは一緒に見ていただくとかというような方法をとっております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

最近、非常に集中的な豪雨が発生しておりますので、保守点検業務というのは非常に大事になってくると思うんですね。例えば、一昨日起きたような雨が降ったらすぐ見に行くのか、それから年間何回とか、どういうふうになっておるのでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、月曜日のようなゲリラ豪雨が起きた後は、雨が収まったあとに雨水のたまり具合を調査しまして、水路のほうの水位が安定しておればポンプをつけてかい出すようにして、できるだけ空にするような心がけをしております。

また、点検につきましては、どうしても雨季に合わせて電気設備が正常に動いているのか、また、機械設備が動くのかという点検を行っておりますので、あくまで日常点検でとにかく雨水貯留を空にするというのは職員で行っておるのが現状でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そうすると、本当に連日のように降ってということで、一昨日も私、土田の区画整理のところの貯留池を見に行ったら、本当に一瞬にしていっぱいになった福田川がパンパン状態というような状況だったんですけども、その辺で道路冠水もするし、職員の皆さんといっても、本当に清須はそこら中、走り回らないかんような実態なんですけど、体制は大丈夫なんでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、雨水貯留というのはあくまで雨が収まってからの点検ということで、実際のところは雨が降ってるときに雨水貯留施設の点検はしません。道路冠水とかが起きると場合に樋門・堰とが開いとるのか、閉まっていればそれを開けることによって軽減できるのか、そういったパトロールは職員が手分けして回っておりますし、警報等が発令された場合には、状況によっては非常配備班を配置する等をしていただいておりますので、そういった感じでその都度その都度、パトロール等を行っているというのが現状でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

収まってからということだったんですけど、1日のうちでも、一昨日なんかを見ると、午前中降ったと思ったら夜中に降ったりとか、収まってまた次が来るという、今まで考えられない、経験したことのないようなスコールのような降り方をするわけですね。市民の皆さんとしては、自分の目の前が冠水したらどうなっとるんだと。

一昨日、土木の前を通ったら、飯田課長が一生懸命電話対応されとるような様子も見たんですけども、本当に大変な最近の降り様なんですよね。やはり市民の方にとっては何でだということになると、この間の福田川がパンパンの場合は流れるところがないから冠水するんですよね。だから、ためて流すようにしないかんのだけど、そのためるところがどうなっておるかということが、どういう状況なのかつかんでいくということも必要になってくると思いますけれども、その辺、モニターを見てやって見えるんですか。今はもう日光川が駄目だで、福田川もいっぱいになったし、貯留施設もだんだんいっぱいだから、そろそろ冠水だとか、そういうリアルタイムな状況把握と起動体制ですね、どういうふうに今やられておるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、そういった川の河川水位等はインターネットで確認できるんですけど、うちのほうの貯留施設につきましては、どうしても現地の確認等になるのが現状です。

そこで、職員としてはまず排水路が本当にパンパンかどうかという、そちらのほうを優先して確認させていただいております、確かに、委員おっしゃるように、月曜日は福田川はパンパン、福田第2排水路パンパンということで、本当に福田川の水を早く流してもらわないと第2排水路も流れないという状況は私も確認しております。そういったことで、市内のほうで、そちらのほうの土田とか、新清洲のほうではあまり水門等は見られないんですけども、ほかの地区ですと水門の開け忘れとか、そういったものを発見次第、開けることによって道路冠水の軽減を図る等のパトロールをして、何とか減災のほうに取り組んでいるという状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

これはやってもやり過ぎということはないぐらいやらないかん課題なんですけど、何せ今は流すところがパンパンということだと、ためないかんということになってくるんですよ。そのところを考えていかないかんわけですけれども、新川流域水害対策計画、47計画の河川分により雨水貯留施設全体で2万330立米ですか、実施するために事業が行われているということなんですけれども、これまで1万7千830立方メートル実施されて、清洲、また新清洲駅北のところで今、整備されておりますけれども、今どれぐらいの状況なんでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

まず、新川流域につきましては、新川中学校が昨年度完成したことにより100%の貯留量を達成しているのが現状でございます。

また、新清洲駅につきましては、日光川流域ということで、福田川のほうに流れるということで、47計画には含まれてない貯留施設でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅北土地区画整理事業で今、整備している調整池につきましては、今の現況ですけど、掘削、基礎部分工事のほうが終わりました、今後、構造物を設置していくような工事になります。全体計画容量につきましては1千420立米をためる今のところの計画でございますので、一応、今年度工事で完了予定ではございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

新川流域と日光川流域があって、なかなか市民の方は分かりづらいし、みんな目の前の五条川に流れるという認識の方も多いですよね。この水の問題というのは本当に脅威の問題ですので、流せなためるしかないという状況もありますので、しっかりこれは行っていただきたいと思えます。

その上で、昨年、雨水貯留施設、新川中学校のところにやるということで、当初予算からかなり補正を組まないかんかったわけですけど、この辺の契約とかいろいろな問題があったわけですけども、その辺についてはどう教訓を今、生かしてやられておるのかというところをお聞きしておきます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課長の飯田でございます。

昨年度、補正予算を組んでいただいて、やっと新川中学校のほうの整備が完成しました。実際、事前の調査不足等がございまして、議員の皆さんにも御迷惑をかけたというのが現状でございます。今後そういったことがないように内部のほうでの審査及び業務をやっておる途中での打合せ、現場確認等を増やすことによって、少しでもミスをなくすように心がけるよう徹底しております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

しっかりやっていただいて、契約の部分も法規の部分もしっかり整えて、教訓を生かして取り組んでいただきたいということをお願いしておきます。

4項都市計画費の1目都市計画総務費の都市計画費についてお聞きします。

公共用地等の検討審議会についてお聞きしたいわけですが、清須市の公共用地等検討審議会、条例を見ると、第1条に土地、家屋の買収、移転補償等に関する事項について調査・審議するため審議会を置くということで、これはどういうふうで開催されておるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課、長谷川です。

公共用地の買収に関わる案件があったときに開催をするということで、昨年度は4回開催いたしました。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

これってというのは、公開なのか非公開なのか、どういう状況になっておるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

買収金額等の補償額、そういった金額、個人名も出ておりますので、非公開ということになっております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

ということは、いつやったかということはホームページ等にも載ってないというのは、そういうことだということで認識しておきます。

それで、清須市の場合、令和元年度に用地地域指定の基本方針及び用地の地域指定の基準について定められたわけであります。また、同時に都市計画マスタープラン、これも定められたわけですが、まさにマスタープランというのはまちづくりに関する総合的な方針であります。その実現には都市計画部門だけでは対応できない部分も含んでいるわけですが、このことから、幅広い関係部署との連携を図る、こういうことも必要になってくるわけですが、一昨日の福祉の委員会の中でも、土地の利用についての特に福祉のほうでは農地のことがあったわけですが、その連携という部分ではどういうふうに取り組まれておるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

これまでは案件ごとに担当者同士の打合せをしておったんですが、今年の6月に土地利用対策会議というのを新たに設けまして、副市長を委員長として各関係部局の長が集まって対策を検討するという会議を組織しましたので、そういったところで今後は検討していくことになるかと思っております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

対策会議ができた。今後はそういうところで検討していくことになるということですが、今もう既に検討というのは始まってはないわけですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

そうですね、今、実際、案件が私のほうにはまだ来てないので、対策会議としては開催しておりません。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

考え方として、1つは、農地のほうでいえばアンケートをやられて、今後どうしていくかというようにもやられるということで御答弁があったわけですが、一方、都市整備のほうも含めた対策会議の中で、今後、企業誘致課もできるというようなことで、そういった様々な横の対応になる会議だということに理解してよろしいでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

そのとおりでございます。

加藤 光則委員

分かりました。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

1点、河川費の中の五条川ふるさとの川管理費というところで、金額はそんなに多くないんですけど、お聞きしたいと思います。

報告書の234ページにありますけれども、まず、今の委託料の中の緑地管理業務、堤防草刈り業務とありますけれども、もう少し詳しく管理の内容を教えてください。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課長の飯田でございます。

委託料につきましては、緑地管理及び堤防草刈り業務ということで、堤防草刈り業務につきましては、五条川の右岸及び左岸の堤防から1メートル部分の草刈りを行っております。

また、緑地管理につきましては、お城の周りのところに花壇及び緑地がありますので、そちらのほうの管理を行っております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

そしたら、草刈りは頻度というか、年に何回とか決めてやられているのでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

年2回行っております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

国からふるさとの川モデル事業ということで、最初は補助金を受けて清洲城のあたりの整備をされたというふうに記憶しています。今、国のほうではこの事業はなくて、かわまちづくりという事業に移管している事業なんですね。の中で、ふるさとの川管理費ということでこの項目を挙げられて、ずっとこれをここの中で予算で執行されているというところに対する市の思いとか、あえてこれを残されているという思いをお聞かせいただきたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

国のほうからの補助金を頂いて愛知県のほうでふるさとの川モデル河川事業という事業を進めていただきました。それによって堤防及び堤防のそういった附帯施設がグレードアップされまして、普通ですと花壇ですとか、そういった緑地とかがない部分も整備していただいておりますので、そういったことがございますので、あえてふるさとの川の管理費ということで項目を残させていただいているというのが現状でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

先般も福祉のほうで産業課のですかね、このあたりの観光の資源となっている部分でありますので、ここのあたりの整備というか、草の感じ、また、ごみの問題などいろいろありまして、多

分、皆さん、そういう苦情をよく頂いていると思うんです。あえて、ふるさとの川のモデルの川ですので、3つとも川は大事なんですけども、特に景観は気をつけていただきたいなという思いもあります、例えば、よく言われるのが、このふるさとの川の看板ですね、これはどうなっているんだと、そういうような細かいことなんですけど、せつかくこういう事業ですので、2回の草刈りでは大変かと思うんですけども、一応、市の目玉の観光地ということで、これから朝日遺跡とのコラボも出てきますけど、もう少ししっかりと管理していただきたいなと思うんですけれども、どうでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

原則、年2回ということで草刈りは行っておるんですけども、その間でどうしても植生によっては伸びるのが早い草とかもございますので、そういった感じで、急に出ておるなとか、通行を阻害しとるなといった部分については適宜現場作業員にお願いして切っているというような状況でございまして、できる限り良好な管理を心がけているという状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

今、飯田課長を始め市の思いが分かりましたので、ぜひ、清須市の中でも一番観光のメインのところですので、あの周辺の景観を外から来た方は見られますので、市全体のことを見られてしまいますので、補助もないですし限られた予算の中ではありますけれども、しっかりと今後も景観ということを考えながらやっていただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

橋梁改良費のところに関連で質問させていただきますけど、毎年、県のほうでも要望していると思うんですけど、都市計画道路枇杷島停車場線の新川橋梁、仮橋から本橋の架け替え、それと五条川の春日橋の架け替えについてなんですけど、こちらのほうの進捗状況を教えてください。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

枇杷島停車場線についてお答えさせていただきます。

現在、停車場線の整備の区間としては、製菓企業がある路線、枇杷島駅西口までの区間が事業認定ということになっております。

製菓企業のところについては、今年度中に契約をするという方向で県と一緒に進めておりまして、それが終わり次第、その先の仮橋も含めた整備のほうを県にお願いしていくということで、県のほうとは勉強会という形で数回調整のほうはさせていただいております。

停車場については以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課の飯田です。

続きまして、春日橋の件についてお答えさせていただきます。

春日橋につきましては、今、春日橋及び下之郷堰、そして県道一場中小田井線ということで、春日橋だけに限らず交差点のほうの形状も急ということで鋭角になっているということで、その3つの事業を包括的に進めていきたいという県の意向がございまして、そういったものを含めて、今、分析及び現場調査を行っていただいているというのが現状でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

まず、新川の橋のほうなんですけど、本年度中に企業のところが進んで、その後だよという話なんですけど、大分めどはついてきたんでしょうか。スケジュール的に何か見えてきたものがあるんでしょうか、橋の架け替え。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

今の仮橋のことでよろしかったでしょうか。そちらについても令和6年度中の占用期間ということになっておりますので、今後、免震及び架け替えについては県のほうと今、調整をしているところでございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

大分進んできたという実感みたいなのはあるんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

どういう形で整備をするかという勉強会を今、検討は行っておるところなので、進んでいるという認識は職員としてはございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

よろしくをお願いします。

2つ併せてなんですけど、愛知県の事業となってくると思うんですけど、しっかりと連携して、一日でも早く進めていただきますことをお願いいたします。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ほか、よろしかったですか。

高橋委員。

高橋 哲生委員

雨水貯留施設の整備費のとこなんですけど、新川中学ができましたということで、今年7月にも大雨がありましたし、この間も大雨があつて、実際これができた効果のほどはどういった評価をされているんでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

新川中学校の雨水貯留施設につきましても、データをとってみますとかなり貯留のほうが入っておりますので、その分は排水路等に流さずにためているということで、排水路への負担軽減には貢献していると思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

一般論的には当然そういうふうなんですけど、実際の経験として何かこう変わったぞというようなことは何かそういうものはあるんでしょうか。

確かに雨量の強度によって全然その辺の冠水時間とか、また冠水等がございますので一概には言えないんですけど、大雨でワイパーがきかないときに走ったときには、私は本線しか通ってなかったんですが、中学校の辺は冠水のほうはたしか記憶ではなかったような記憶がございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

では、続きまして、82、83ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

82ページで2目の土地区画整理についてお聞きします。

新清洲駅北土地区画整理費、今年度予算では大きく額が膨らんだわけですがけれども、昨年度の今決算では、新清洲駅北土地区画整理、予算との関係でいくと委託料が4億3千918万円から2億5千439万4千869円、こうなっているわけですが、その大きな要因というのをお聞きしたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課長の前田です。

予算のほうで令和元年度の予算でよろしかったですかね。

加藤 光則委員

そうです。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

やはり国費のつきが悪いというのがございまして、その分の減額部分と繰越明許で次年度へ工事補償、その辺の繰り越しとる事業がございまして、その辺の予算がございまして。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

なかなか予算のつきが悪いということを言われたわけでありまして。この事業というのは、URと一緒にやられとるわけですが、契約でいくと平成31年4月1日にはURと随意契約で4億3千918万円ですか、約4億3千900万円が随契でされとるわけですが、この辺ではどういうふうに契約して取り組もうということによってこれだけ減額になるのかというところの流れですね、その辺を御説明いただきたいと思っております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

前田です。よろしく申し上げます。

URと年度契約で31年当初に契約はしとるんですけど、やはり地権者交渉もありまして、工事の進み具合、占有者関係でそのところの協議等で実際、令和元年度中に工事のほうは完了しない、補償はできないという部分がございますので、その部分については繰越し事業として翌年度へ持ち越して、令和2年度に完了するという予定で実施はしております。

協定のほうも変更で令和2年度に完了年度を延ばしとる状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

中身を詳しくお聞きしたいと思うわけですが。例えば、繰越明許費の繰越事業、この中身を見ていくと成果報告書の244ページですか、そこを見ていくと、埋蔵文化財発掘調査業務、予算が例えば1千821万円が2千546万6千400円、こういうふうになってきておるわけですね。まず、こういった問題というのはどういうことなのかお聞きしたいと思っております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

前田です。よろしくお願いします。

1千800万円というのは令和元年度の予算でございまして、繰越事業については、平成30年度の繰り越した予算、埋蔵文化財の調査費は2千500万円上がっているという状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

何が言いたいかというと、1つは多くの自治体が大規模事業、これはいつも行っておるわけじゃないと思うものですから、何十年に1回、そういう中での事業であるということから、ノウハウが蓄積されていないと。一部で企画設計段階において設計内容が予算に収まっていないことが確認されないまま事業が進められて、工事の入札段階になって予算が収まっていないことが判明して、設計の見直しや予算の増額と事業の停滞や手戻りが生じてしまう、こういうことが指摘されているわけですが、URとの契約もあるわけですが、その辺でノウハウを持ってみえるわけですが、どういうふうに密な事業運営をされておるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

前田です。

URとの調整につきましては、月1回、調整会議等で問題・指摘事項等の洗い出しをして、担当者等を含めて協議はしております。日々の中でURとURの下請業者とうちの担当職員とで協議をした中で、事業について、占用者会議等も開き、その辺の調整はしていく中で、やはり不測の事態じゃないですけど、どうしても地権者等がございまして、その方の補償で移転先を見つけてから移転していただくとか、工事の状況でどうしてもガス、水道、その辺の移設等が実際遅れてきておる、そういう状況もございまして、繰越事業として工事が翌年に繰り越しておるような状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

しっかりやっていただかなあかんわけなんですけれども、国のほうも、地方公共団体における建設事業の円滑な実施に向けた手引というのを平成29年7月に出されました。私も改めて読んでわけなんですけれども、工事発注までの期間が長く、物価変動等の可能性があることの認識という項目がありました。予算措置を行う事業部局においては、工事費等の見積りに物価変動等の可能性があることを認識することが重要であると。事業予算の大幅な不足が生じる事態を避けるために建設物価市場の推移を刊行物等により分析して、想定される物価変動率を見越した上で事業全体の必要経費を設定していることも有効な手段だと。その他、議会や住民に対してその都度、工事費等の物価変動の可能性のあることを丁寧に説明する必要があるということや、予算措置や発注条件の前提となる事業計画が適切に企画立案されるよう、必要な体制整備や関係者の連携を図る、こういうことが改めて国のほうから手引きとして出されているわけであります。

やはりこういう大規模な事業というのは、ノウハウ等がないわけですので、専門家に頼ってURとの契約の中でやってみえるわけですが、その辺でURは専門的な知識を持ってやられているところなんです、そういう中でもいろいろなこういった変動が出てきているわけで、その辺については市当局として公共の区画整理をやられているわけですが、どういうふうに認識して改めてやっていこうとしているのかお伺いしたいと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

前田です。

物価高騰につきましては、当初、区画整理事業自体がどうしても事業期間が長いので、経済情勢により変動する事業費等につきましては、事業変更でこういうものについては変更させていただくということで当初計画はどうしても積算上はしておる状況でございます。このことも踏まえて、適正に今後、事業費についてはなるべく抑えられる事業は抑えて、事業費が膨らまないように努力しながら進めていきたいと思っておりますので、事業費増額とかはあまり望ましくないと思うんですけど、今後こういうことがないように、事業についていろいろ工法等を検討しながら進めていき

いと思いますので、よろしく申し上げます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

やはり大きな事業でありますし、物価変動の可能性ということも国のほうもいろんなそういう方面からの指摘もされとるわけです。今年度の予算においては50億円が70億円になるという変動の額が大きかったわけですね。ですから、昨年度の決算しとるわけですが、昨年度の決算の中でも、国のほうから思うようにお金がつかないということで繰越明許ということもされとるわけですが、その時点時点でいろんな精査をしてやっていくということが、この間の流れを見て私は非常に感じておりますので、改めて、こういう国からの手引も出されておりますので、十分やられとると思いますが、まだまだ長い事業でありますので、さらに精査して委託業者とも連携を図っていただいて、住民の説明が丁寧に説明できるような体制をとっていただくということをお願いしておきます。

以上であります。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ほかによろしかったでしょうか。

久野委員。

久野 茂委員

鉄道高架のことで伺います。

担当職員の方の努力によりまして、仮線用地立ち退きを数件ご協力いただいて立ち退いていただいているんですが、先日もお願いしたんですけど、立ち退きの跡が更地になってますよね。農地もあるんですけど、更地の草刈りですか、広報9月号に空き地の草刈りや剪定をお願いしますとお願いがありましたよね。まだまだ鉄道高架事業はこれからずっと長いんですよ。更地になっている草の管理とかは市はこれからどうしていただけるんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

事業用地で買収されました市の土地につきましては、事業管理用地として今後管理はしていきんですけど、今のところ発注が間に合っていない状況でございまして、職員のほうで随時刈りに行

つとるような状況ではございますけど、今後、その事業用地について、その用地を近接の方が通り抜けて使われない部分につきましては、市のほうで防草シート等の貼り付け等、舗装がある部分については舗装部分を残していただく等の管理で、草生えがなるべく起こらないような形で管理していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

久野委員。

久野 茂委員

それもすぐ対応していただけるんですか。今、言われたこと、例えば、防草シート云々の話は。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

事業用地について、今後の状況が決まりましたらすぐに対応したいと思いますので、よろしく申し上げます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

久野委員。

久野 茂委員

その関連ですけど、名鉄新清洲駅ですね、西清洲側と新清洲側がつながってますよね。通路は市が管理してみえますよね。壁と屋根はどこが管理するんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課の飯田です。

駅前のアンダーというか改札へ抜けるトンネルというか地下通路なんですけど、内駆断面といまして、表面上のものについては市のほうで管理しておりまして、躯体というか、そういった構造的なものについては名鉄のほうで管理しているという状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

久野委員。

久野 茂委員

それでは、西清洲側と新清洲側入り口は鉄骨で造ってありますよね。あれの管理は名鉄ですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

恐らく、躯体ということで名鉄の管理になると思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

久野委員。

久野 茂委員

それでは、すみません。名鉄に要望していただけますか。あれは大分錆びてるんですよ。見た目もひどいもので、名鉄に高架事業はまだ大分年数がかかりますよね。今、言われた名鉄が管理ならば名鉄にお願いして、塗装が大分はげて錆び錆びになってるんですよ。それを名鉄に要望と
うか、お願いして行ってください。お願いします。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

3目の街路事業についてお聞きします。

国・県支出金が450万円減ってきているわけですが、工事請負費の減なのかどうか、中身をお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課、長谷川です。

清須新川線の整備費ということで、今回、測量と用地の購入のほうをいたしました。若干、県費のほうのつきが90%程度ということで、県費の減額に伴う支出の減ということでございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

県費が減って支出がということなのですが、先ほど言われた清須新川線の整備の状況について伺います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

昨年度、用地のほうは購入しましたので、今年度、今、愛知県のほうで名鉄の桃栄の跨線橋とこのを整備していただいております。それは今年度末で完成するということは聞いておまして、その先線になりますところを新川の堤防道路につなげる工事、これは間もなく発注する予定で、今年度の末に完成するという見込みで、今、事業のほうは進めております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そしたら、土地の購入等が終わって、今年度、堤防に上がるところができるということで、それで、跨線橋との関係で開通というのはどうなるんですか。こっちと向こうとの関係で、どういうふうに考えられて今、進められておるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

同時の開通が理想なのですが、例えば、県のほうが早く開通できるのであれば、危険も減るといふこともありますので、その後改修することもあるかもしれませんが、できるだけ同時に供用開始のほうをしたいというふうには考えております。今後、県のほうとまた調整のほうはさせていただきます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

よろしくお願ひします。

続いて、4目の先ほど出ましたが、鉄道高架費についてお聞きします。

これについては、国や県や市で確認書を取り交わしたということですが、こういった内

容まで踏み込んだ確認がされているのか伺いたと思います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課の前田です。

確認書につきましては、それぞれの事業費の負担がどうなるのか、清須市としては確認事項の中で用地取得について清須市が責任を持って取得するというようになっておりますので、仮線で係る用地部分につきましては、協定の中の確認書の中で、土地取得と補償、借地部分があれば借地部分についても清須市が施工するような内容になっております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

限度額立体交差事業ということで、大きな事業になってくるわけですがけれども、全体の事業完了は40年度を見込んでいるということが言われておりますけれども、今、言われたように、鉄道部分の施工は名鉄が委託する。県は交差する道路の整備と五条川の改修を行っていく。市のほうは、今、言われた事業を行っていくということであります。今、確認書のもとに協議をして、それぞれのところが事業を進めておるわけですがけれども、例えば、鉄道部分は名鉄であります、名鉄との話が進まんと進まん話が多いんですね。五条川の部分なんかは特に事業の完了は40年度を見込んでおったら、これはいつになるかということなんですが、一昨年から名鉄も設計が始まったということが言われておるんですけど、名鉄さんとの話も含めて、五条川の拡幅の部分の鉄橋の部分はどういうふうに事業を今、進められていますか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課、前田です。

河川部分の鉄橋につきましても、名鉄の今、詳細設計の中で設計業務をされていますので、その内容を詳細設計が終わった後に、その部分でどういう状況なのかというのも、今現在、愛知県とも協議はしておると思うんですけど、詳細自体は名鉄が業務発注して、鉄橋部分についても設

計はしております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今回、限度額の立体交差事業ということで進めるわけではありますが、それぞれの事業をどう進めていくかというところでは優先順位もあるわけですが、特に河川のところが大きなネックになっておりますので、ここの関係については早く進むように自治体としても声を大にして上げていただいて、今のところどうしようもないから、あそこは狭窄部になって河床掘削するんだということが言われていますけれども、河床掘削についても護岸の補強をされながらやっておるわけですが、昨年の右岸の堤防の崩落もありますので、本当にここの部分は早く事業を行えるように、ぜひ市としても声を上げていただいて事業を推進していただきたいと思います。これはお願いしておきます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

質問の途中ですが、ただいまより昼休憩に入りたいと思います。委員会開始時刻は13時15分からということでよろしくお願いたします。

（ 時に午前11時57分 休憩 ）

（ 時に午後 1時15分 再開 ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

休憩前に続き、審議を再開いたします。

飯田土木課長。

土木課長（飯田 英晴君）

午前中、船舩橋の整備費について回答を保留させていただきました件について報告させていただきたいと思います。

午前中、船舩橋については8億4千万円ということで報告させていただきましたが、まず愛知県が約50%、清須市が50%で、清須市負担が4億2千万円、そのうちの国費につきましては約1億円、起債につきましては約9千万円、残りが一般財源で対応させていただいております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そのところで、今せっかく回答をいただいたもんですから。となると、県が50%、市が50%で、そのうちでいろいろ起債だ、あれだということだったんですけど、例えば、去年の契約事項を見ると、昨年度の五条川改修に伴う船舩橋改築工事の施工調査ということで、県に1億6千万円上がっておるのは、県の中の50%の中のお金ということで考えればいいのか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

そうです。

加藤 光則委員

分かりました。ありがとうございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

83ページの街路管理費のところなんですけど、14路線、都市計画道路の管理を行ったということなんですけど、一般質問でもさせていただきましたが、道路と歩道の中の土砂の堆積が結構気になるということを質問させていただいたんですけどこれを見ると、路線の中ですごく気になるところがたくさんありまして、こちらのほうも一度対処していただきたいんですけど、いかがでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課長の飯田です。

一般質問でも御指摘いただいたとおり、幹線道路、適宜清掃のほうは行っていきたいとは考えております。

以上です。

高橋 哲生委員

よろしく申し上げます。

それとですね、これは3月にも質問させていただいたんですけど、街路樹の剪定の件なんですけど、具体的に言うと、大和町線というところなんですけど、先日、8月の夏休みが終わる直前かな、街路樹の剪定をやっていただいたんですけども、この路線は子どもの通学路になってしまっていて、できればそこら辺も配慮した剪定をしていただきたかったなと思ったんですけど、ここは年に2回やられるんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課、長谷川です。

街路によって伸び方が違いますので、概ね2回やってるところと1回で済んでるところがございます。大和町線につきましては、先ほど委員おっしゃられたように、台風前に枝とかそういったものが折れて、通行者に迷惑がかからないような形で、どこまで行っても狭い歩道の中にある木ですので、安全対策という観点から、毎年、台風前ということで実施はしております。

今回、通常ですと8月が夏休みということなので、どうしても年間の計画の中で業者との打合せの中で毎年同じようにという指示をした関係上、この時期になってしまったんですが、そこはもう少し臨機応変にやればよかったのかなとは思いますが、今後、臨機応変に動けるようにはしていきたいというふうには考えております。

以上です。

高橋 哲生委員

すみません、よろしくお願いします。

それとですね、今度もう一回多分やるということになると思うんですけど、これは前も御指摘はさせていただいたんですけど、できれば落葉した後の冬季剪定でお願いをしたいと、これは要望をしておきます。

お願いします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

続きまして、84ページ、85ページ。

林委員。

林 真子委員

林です。

都市下水路等費のところでは少し確認なんですけれども、報告書の250ページを見ますと、雨水ポンプ場6か所及び管渠の維持管理のためにと書いてあるんですが、前年度の報告書では、雨水ポンプ場は8か所となっていたんですけども、この内容を教えてください。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

企業会計化に向けまして、そのときに公共下水道のポンプ場のほうへ2か所、一般会計のポンプ場から移したということがございます。2か所、公共下水道のほうに移したということで、2か所分が減ってるということです。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

すみません、素人で、ポンプ場というか、水を排水する施設ということでお聞きしたいんですけども、市内には何か所あって、管理というのはそれぞれ今、下水のほう、それから土木もあると思うんですが、それぞれが幾つのどういうふうなものを管理しているのか教えていただけますか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

上下水道課で今、所管している分が、成果報告書にあります都市下水路としてのポンプ場として管理しているのが6か所、下水道事業の雨水のほうで管理しているのが7か所にあります。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課の飯田です。

土木課としては3か所のポンプ場を管理しております。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

私、どこが管理するかの違いというのが分からないんですけども、分かりやすく教えていただけますか、規模なのか何なのか、そのあたりを。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課の飯田でございます。

まず、土木課の管理3か所につきましては、春日排水機場及び春日第2排水機場及び今、下水のほうで計画されてます西清洲のところにポンプ場というかポンプ施設があるということで、その3か所の管理を土木が行っております。

主に、ポンプ場につきましては、農業系の予算を頂いて行っておるため、土木課のほうで管理しているという状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

こちらのほうで管理しているのは、基本的に農業系ではなくて、降った雨を河川のほうへ排出するというためのポンプ場を管理しております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

ごめんなさい、私は勉強不足で。今、一般会計の分と下水の企業会計の分との縦分けがよく分からないんですけど。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

事業会計は公共下水道の事業計画に位置づけられたポンプ場というのは、今の公共下水道の雨水ポンプ場というところに仕分されております。あとは、昔から管理していた小さいポンプ場なんかは一般会計のほうで管理しているというすみ分けにあります。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

そうしますと、今、農地の関係、都市の関係とありましたけども、それぞれいろいろ予算のつき方とか違うと思いますので、一番いいところでやっていただいているという考え方でいいんでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

土木課の飯田でございます。

農業系のほうでポンプ等の改修の補助金とかのつきとかもございますので、そういったことで春日地区については調整区域を拾っておる水とかがありますので、その有効性を鑑みて、そちらのほうの予算で対応している。また、農地等の灌漑というか、そういった冠水状況を加味した位置づけられたポンプ場ということで整備されているという状況です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

そうしますと、平常時ではなくて、大雨のときですとかポンプ場の稼働に関する管理というものも分けてされると。春日の第1、第2の場合は土木のほうで止めるなりということをしていくということでもいいんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

飯田課長。

土木課長（飯田 英晴君）

そのとおりです。3か所については土木課のほうで管理しておりますし、それ以外のポンプ場につきましては上下水のほうで管理しています。

以上です。

林 真子委員

分かりました。ありがとうございました。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今の続きを聞きます。

それぞれ管理が分かれとるとのことなんですが、社会資本総合整備計画の中で、安全で安心な下水道雨水整備計画が平成28年度から令和2年度の5年間で行われているわけですが、今、言われたような管理は別で、それは今、計画というのは上下水のほうを担当しておるところだけという位置づけなんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

そのとおりでございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そしたら、その計画がいよいよ2年度までということで、昨年度の実績からいくと予定どおり行われてきておるという認識でよろしいでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

今のところ予定どおりで進んでいると思っています。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

それでは、都市下水路のところでお聞きしますが、雨水の管路については管理延長が2万3千91メートル、ポンプ場がいろいろできておるわけですが、都市下水路の管理は今どういふふうに行われておるのかお聞きしたいわけです。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

日常の管理でよろしいでしょうか。

加藤 光則委員

委託も含めて両方。

上下水道課長（菅野 淳君）

日常の管理は機械設備、電気設備を含めまして、点検という形で年に数回やっております。雨が降ったときも、このポンプ場は人がつくポンプ場ではありませんので、職員のほうが動いているかどうかというのを確認しながら見ておるとい形になっております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

先ほどの雨水貯留施設と同じなんです、本当にこれだけ頻繁に降ったりすると、委託されるところについてもきちっと対応してもらわないかんわけですが、例えば、近日中に一昨日も降ったわけですが、その辺では問題では生じてないでしょうか。

というのは、前も課長にも言ったけど、葉っぱが詰まったりしたわというようなことで、そうすると、近所の人は何でだということがあるんですよね。実際にはいっぱいじゃなくて、機械がうまく作動しとらんから冠水していくんだということも起きておるわけですが、その辺についてはどうですかね。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

上下水、菅野です。

今回の降雨につきましても、先ほど委員が言われたポンプ場も含めまして職員が降雨時に見て回ると、点検するという形で取らせていただきまして、また、遠隔でポンプ施設が動いているかどうか確認ができますので、それを見ながら現場を回るといふうに対応させていただきました。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

この問題というのは本当に一刻を争うような対応が必要になる場合もありますので、日常点検についても月1回程度で職員の目視とか、異常なときには早期発見に努めるとか、いろいろ計画の中でもうたわれていますけれども、本当にこの対応についてはしっかりとやっていただきたいということをお願いしておきます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ほかにこのページよろしかったでしょうか。

加藤委員。

加藤 光則委員

7目公園費、伺います。

成果報告書の252ページ、本市の都市公園61か所、児童遊園及びちびっこ広場42か所が整備されているわけですが、ここにも公園施設は年に1回以上の定期点検を実施ということで、日常的な点検については施設の変状や異常の有無について職員等の目視を行うということになっておりますけれども、定期的な点検については年に1回以上、専門技術の有資格者がやってくんだということになっておりますが、これは今、本市ではどういうふうに業者と職員、それから市民からの通報というのを最近スマホでやられていますので、どういうふうに対応されているのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課、長谷川です。

まず、公園の施設につきましては、遊具やベンチといろんなものがありますが、それについては、年3回、業者のほうに委託をして、施設等の保守点検というのを行っております。その中で劣化しているものとか、そういったものの優先度という報告が来ますので、それに基づいて遊具、施設のほうは修繕を行っているという状況です。

また、職員のほうも随時パトロールは行ってございまして、悪いところがあればその都度対応している。

今年度からLINEの通報も実際、道路ほどではないんですが、公園のほうの御指摘もいただいております、そちらにつきましてと、まず職員で直せるようなもの、例えば、トイレの詰まりですとか、玉切れですとか、そういったことは随時、職員で行っておりますし、取替えが必要となるようなものについては、その都度修繕という形で営業所のほうへ依頼しているという状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

きちっと安全の確保をしていただきたいと思います。

それで、遊具とかいろいろなっていますけど、例えば、周りを囲むフェンスなんかも入っておるのかどうか、これはどうなんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

一応、フェンスのほうも入っておるといのか、見て少しほつれているような状況とかはありますので、そこまでの報告は点検の中には入っておりませんので、そちらのほうは職員の目を見て、必要に応じて修理をしているという形でございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

例えば、フェンス、これは塗って直しときゃもうちょっと長もちするというようなところも目につきますので、壊れてしまっただと余計にお金もかかりますので、その辺も含めた点検もしていただくといいかなと思います。

それから、遊具の保守点検の委託についてお聞きします。

これは指名競争入札で行われておって、児童遊園と遊具保守点検委託が460万9千円で都市公園が227万円とたしかになっておったんですが、主要施策だと児童遊園のほうは227万7千円となっとなるけど、その辺はどう見たらいいのか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

遊具の保守点検のほうですが・・

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

もう一回言います。

252ページのところの児童遊具のところの委託料のところで227万7千円と書かれておるんですけども、契約状況の一覧を見ると、4月1日に児童遊園と都市公園と2つとも委託の保守契約されとるんですね。その金額を見ると、都市公園のほうは227万7千円になっとるものだから、契約上どういうふうに見たらいいのかなと思って。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

長谷川課長。

都市計画課長（長谷川 久高君）

恐らくそれはこちらのミスかと思います。すみません、そちらを確認しなくて申し訳ないんですが、実際、都市公園のほうの遊具保守点検につきましては、都市公園のほうで406万9千円、ちびっこ広場のほうの保守点検につきましては227万7千円ということですので、そちらの公表のほうを私どもが確認してなくて申し訳ありません。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

その辺というのは、今回新たに契約等できちっとされるという新たな機構改革が行われるということで、一昨日の質問にもあったんですが、財政管理のほうは公表の上でこの文字を追う確認をしとるということがあったんですが、これはどうなんですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

岩田課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

財政課長、岩田です。

すみません、もう一度ちょっと。御質問の内容が私、理解できずに申し訳ございません。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

随意契約とか工事契約について、市のほうが市民のほうに開示して、契約状況の一覧というのを
出されとるんですよ。そこを見ると、平成31年4月1日の都市公園と児童公園の遊具保守
点検の委託料が載っておるんですよ、業者名と金額が。そこが成果報告書の額の表示と私、理解
がでんもんで、違っとるもんで、その辺がどうだったのかと。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

岩田課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

すみません、ホームページの公表状況ということでよろしいでしょうか。

今、長谷川課長のほうから御答弁がありましたので、一度確認させていただいて、間違ってい
るようでしたら修正させていただきたいと思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

私のほうが違っとるといけませんので、しっかり見ていただいて、また御報告いただきたいと
いうことをお願いしておきます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ほか、よろしかったでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

歳出、最後のページになります。86、87ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

では、これで質疑を終わります。

続きまして、認定第5号 令和元年度清須市水道事業決算認定について説明をお願いいたしま
す。

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

上下水道課長の菅野です。よろしくお願いいたします。

令和元年度清須市水道事業決算認定について御説明いたします。

清須市水道事業決算書 6 ページをお願いいたします。

初めに、収益的収入及び支出に関連します財務諸表について御説明いたします。

令和元年度清須市水道事業損益計算書

期間は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までであります。

消費税抜きの金額になっております。

1. 営業収益は、（1）の給水収益、（2）受託工事収益、（3）その他営業収益を合わせた1億8千623万9千253円であります。

主なものは、給水収益、いわゆる水道料金と受託工事収益などであります。

2. 営業費用は（1）原水及び浄水費から（7）その他営業費用を合わせた1億8千65万6千839円であります。

主なものは、愛知県の県水の受水費、排水設備の維持管理に伴う保守点検費、動力費、修繕費及び職員の人件費と建物・構築物・機械及び装置などの有形固定資産の減価償却費などがございます。

営業利益は、1. 営業収益から2. 営業費用を差し引いた558万2千414円であります。

3. 営業外収益は、（1）の受取利息及び配当金から（5）の他会計補助金を合わせました2千102万3千381円でございます。

4. 営業外費用は、（1）支払利息965万6千958円で、企業債の利息であります。

経常利益は、営業外収益2千102万3千381円から営業外費用965万6千958円を引いた1千136万6千423円を営業利益の558万2千414円に足した1千694万8千837円であります。

当年度純利益1千694万8千837円に前年度の繰越利益剰余金781万5千643円を足しまして、当年度未処分利益剰余金といたしまして2千476万4千480円でございます。

続きまして、7、8ページのほうをお願いいたします。

令和元年度清須市水道事業剰余金計算書

期間は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までであります。

表の下段、資本金当年度末残高といたしまして8億3千691万1千116円であります。資本剰余金合計といたしまして361万2千756円、利益剰余金といたしまして、減債積立金561万円、建設改良積立金9千599万4千267円、未処分利益剰余金2千476万4千480円、利益剰余金合計といたしまして1億2千636万8千747円であります。資本合計といたしまして1億2千998万1千503円であります。

1枚はねていただきまして、9ページをお願いいたします。

令和元年度清須市水道事業剰余金処分計算書（案）について御説明いたします。

当年度末の資本金、資本剰余金、未処分利益剰余金の残高は、ここに記載のとおりで、当年度末残高と同額を処分後残高とするものでございます。

次に、資本的収入及び支出に関連します財務諸表について御説明させていただきます。

10ページのほうをお願いいたします。

令和元年度清須市水道事業貸借対照表、令和2年3月31日について御説明いたします。

資産の部につきましては、1. 固定資産といたしまして、（1）有形固定資産のイの土地から、への工具器具及び備品までの有形固定資産合計14億3千235万2千947円と（2）無形固定資産のイの電話加入権6万4千750円を合わせたものが固定資産合計として14億3千241万7千697円でございます。

2の流動資産としては、（1）現金預金、（2）未収金、（3）貯蔵品、（5）その他流動資産を合わせた1億5千732万6千87円であり、資産合計といたしまして、固定資産合計と流動資産合計を合わせた15億8千974万3千784円あります。

次に、負債の部につきましては、3. 固定負債の（1）企業債1億7千327万2千408円でございます。

1枚はねていただきまして、11ページをお願いいたします。

4. 流動負債合計は、（1）企業債、（2）未払金、（3）前受金、（5）引当金、（6）その他流動負債を合わせました8千726万6千369円でございます。

5. 繰延収益合計は、（1）長期前受金と収益化累計額を合わせた3億6千231万2千388円でございます。

負債合計は、固定負債合計1億7千327万2千408円、流動負債合計8千726万6千369円、繰延収益合計3億6千231万2千388円を合わせました6億2千285万1千165円でございます。

次に、資本の部につきましては、6. 資本金は8億3千691万1千116円でございます。

7の剰余金、(1) 資本剰余金といたしまして、ロの受贈財産評価額361万2千756円でございます。

(2) 利益剰余金としまして、イの減債積立金561万円とロのその他積立金9千599万4千267円とハの当年度未処分利益剰余金2千476万4千480円を合わせまして、合計額1億2千636万8千747円でございます。

剰余金合計は、資本剰余金合計361万2千756円と利益剰余金1億2千636万8千747円を合わせました1億2千998万1千503円となります。

資本合計は、6の資本金の8億3千691万1千116円と7の利益剰余金1億2千998万1千503円を合わせました9億6千689万2千619円になります。

負債資本合計は、負債合計6億2千285万1千165円と資本合計9億6千689万2千619円を合わせました15億8千974万3千784円になります。

以上で、水道事業決算書の説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

加藤委員。

加藤 光則委員

質問します。

まず、清須市の水道事業経営戦略から見て、この決算については、一応、当初計画では給水人口増加となっていたわけですがけれども、どうなのかということをお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

希望としてはどんどん上がってほしいというのがありますが、今、区画整理とか春日地区内の住宅の開発などが今、順次行われている状況なので、上がっていくペースは遅いかもしいんですが、今後上がっていくだろうというふうには見込んでおります。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

なかなか見込みでということだったんですが、予算に対して収入減であったわけでありまして。収益的の営業収益が予算に対して減っているのは、これは今、言われた人口の伸びなのか、一方では節水が何かということも書かれておりましたけれども、その辺はどういうふうに分
析されておるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

おっしゃるとおり、伸びのほうもあるんですけども、やはり最近
は節水機器が非常に多いということもございまして、なかなか給
水収益が伸びていかないということもございまして。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

もう1つ、営業外収益の長期前受金の戻入というのがあるんですけども、これは減価償却に
合わせて出てくるわけですが、これはどういうものか説明いただきたいです。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

これまで水道事業をやってきました、国の補助金とか県の補助金を使ったりとか、また、他
会計から繰り入れて、そして整備したものに関して、減価償却に応じた金額を戻入として受け
入れていくということになっております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

その上でまたお聞きしますが、収益的支出の不用額が今回2千247万5千939円、執行率
89.9%ということですが、まず、これはどうしてお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

下水工事なんかで支障移設したりする支障工事をございまして、そのあたりが下水工事の遅れにひきずられて、当初予定していた支障管の移設工事が見送られたというか、なくなったということに伴って減ったということです。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。改めて決算審査意見書にも述べられておるものですから、中身をお聞きしたわけであります。

もう1つ、営業外費用の執行率、これも77.9%の企業債支払利息以外に何かあるのかお聞きしたい。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

営業外費用の。

加藤 光則委員

企業債支払利息以外に営業外費用というのは何があるかという中身ですね。

上下水道課長（菅野 淳君）

今それは何ページのところが。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

何ページというか、私、決算の意見書のほうを見てやっとするもので。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

営業外費用は全部支払利息になります。企業債の支払利息に当たっております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

全部ということは、企業債ということでとらえておけばいいということですね。

上下水道課長（菅野 淳君）

はい。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今そうやって言われると、浄水場や配水管などの維持管理とか職員給与とは考えずに、企業債利息だけというとらえ方でいいのでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

水道事業費用の中の営業外費用の中には支払利息が入っております。それだけです。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

資本的支出の建設改良費が執行率65%で、不用額がたしか3千732万5千94円出ているわけですが、配水管等の耐震化計画に基づき、今回どういうふうに行われたのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

一応、今の耐震化の計画は10年間で年間3千万円ぐらいずつ耐震化をやっていこうという計画になっておりまして、大体それに基づいて今回執行させていただいたということになります。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

年々やっていくという計画を立てられておって、たしか見るとですね、決算年度というのは111メートルだったけど107メートルだったということも載ってました。そういうふうを実施されておったわけですが、主に重要給水施設への配水管路ということで計画を立てておみ

えですけども、この重要給水施設というのはどういうふうに定義されておるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

指定避難所とかになっている施設が主でして、春日小学校だとか中学校、広域避難所の春日のグラウンド、春日の老人福祉センター、五条川リハビリテーション病院、あとは中之切公園、ネギヤ保育園、ネギヤ公園、ペガサス春日、平安の里と、それに向かって伸ばしていくということです。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

毎年計画を立てておられるということで、順調にやっておるという理解でいいですか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

収益があつての工事になってきますので、経営の状況を見ながらやっていきたいなというふうには思っております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

もう1点聞きます。

愛知県の広域水道圏の年次計画というのがあるわけですけども、そこに計画立てられたものを見ると、計画が立てられてから15年後、2020年には管理計画、経営計画において水道事業者が行う広域水道を推進するための事業に対して、県は必要に応じて協力するよう努める、こういうことが見出しで書かれているわけですけども、名古屋市水道事業との管理経営計画との関係というか、これはどういうふうにこの年度を切って進められてきて、いよいよ2020年になってきたんですが、今どういうふうな状況にあるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

広域でなるべくやりなさいと、近隣の水道事業体となるべく共同して仕事を進めなさいということだと思っておりますけれども、春日の水道事業に関しましては、名古屋市のNAWSといたしまして、水道関係の外郭団体がございまして、そこへ水道の検針事務を委託するというような形で共同でやっていくというようなこともやっております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

名古屋市とのそういうところは進めておみえになると。旧春日以外に今、名古屋市の関係だと思うわけですが、肝心要の県水との関係でいえば、年次計画に基づいて推進されていくと思われるわけですが、今15年たって2020年を目途にいろいろ計画を立てられてきたわけですが、今、春日と春日以外のところで県水と名古屋市ということに分かれておるわけですが、何が課題となって、どういうふうに話が進められて、どういうふうに計画を踏まえて物事が進んでおるのかというのを明確にしていく年度になるかと思うんですが、その辺についてはどういうふうな位置において、今、当局は考えられているのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

名古屋市の水道事業体への名古屋市からの給水ということもこの先は考えているんですけども、その辺のあたりで県水との絡みもございまして、国の大きな計画、フルプランというのがあるんですけども、その改定に合わせる時期で、そのタイミングで、これまで清須市内、名古屋市からの市外給水をやってきた経緯がございますので、国の計画を見据えながら愛知県のほうと名古屋市と、また県の水道事務所のほうと連絡を密に取りながら、そういったタイミングを探るといような状態になっております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

それはよく分かりますけれども、年次計画が15年前に立てられて、15年後の2020年にはこういう方向に持っていくよということになっておったわけですので、何が今、課題であって、

それを明確にして、この計画がどういうふうになっているのかということをはっきりと明らかにしていくということは私は大事なことだと思いますので、しっかりやっていただくようここでお願いしておきます。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ほか、よろしかったでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

これで質疑を終わります。

認定第5号 令和元年度清須市水道事業決算認定について採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、認定第5号 令和元年度清須市水道事業決算認定については、原案のとおり認定すべきものと決しました。

次に、認定第6号 令和元年度清須市下水道事業決算認定について、説明をお願いいたします。

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

上下水道課長の菅野です。よろしくお願いいたします。

令和元年度清須市下水道事業会計決算認定について御説明いたします。

清須市下水道事業決算書、9ページをお願いいたします。

初めに、収益的収入及び支出に関連します財務諸表について御説明いたします。

令和元年度清須市下水道事業損益計算書

期間は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までであります。

消費税抜きの金額になっております。

1. 営業収益は、（1）の下水道使用料、（2）雨水処理負担金、（3）その他営業収益を合わせました6億3千645万3千341円でございます。

2. 営業費用は、（1）管渠費から（8）資産減耗費を合わせた12億9千504万9千17

0円でございます。

主なものは、ポンプ場の維持管理費、流域下水道の維持管理に伴う負担金、建物・構築物・機械及び装置などの固定資産の減価償却費などでございます。

差引き6億5千859万5千829円の営業損失となっております。

3. 営業外収益は、(1) 他会計負担金、(2) 長期前受金戻入、(3) その他の営業外収益を合わせました8億7千429万9千542円でございます。

4. 営業外費用は、(1) 支払利息、(2) 雑支出を合わせました1億8千882万9千782円で、差引き6億8千546万9千760円となりまして、経常利益は6億8千546万9千760円から営業損失の6億5千859万5千829円を差し引きました2千687万3千931円となっております。

5の特別利益は、(1) その他特別利益2千544万2千872円、6の特別損失は(1) その他特別損失245万8千104円、当年度純利益は、特別利益から特別損失を差し引きました2千298万4千768円に経常利益の2千687万3千931円を加えました4千985万8千699円でございます。

当年度未処理欠損金は、当年度期首繰越欠損金5億338万5千716円から当年度純利益を差し引きまして4億5千352万7千17円でございます。

続きまして、10、11ページをお願いいたします。

令和元年度清須市下水道事業剰余金計算書

期間は、平成31年4月1日から令和2年3月31日まででございます。

表の下段、当年度末残高といたしまして、資本金8億2千850万7千円でございます。資本剰余金合計9億8千991万2千890円、利益剰余金合計、当年度期首残高繰越欠損金マイナス5億338万5千716円に当年度純利益4千985万8千699円を合わせまして、利益剰余金合計はマイナス4億5千352万7千17円でございます。したがって、表の一番右の列の下、資本金と剰余金を合わせました資本合計といたしまして13億6千489万2千873円でございます。

その下の表をお願いいたします。

令和元年度清須市下水道事業欠損金処理計算書

当年度末の自己資本金、資本剰余金、未処理欠損金の残高は、ここに記載のとおりで、当年度末残高と同額を処分後の残高とするものでございます。

次に、資本的収入及び支出に関連します財務諸表について御説明させていただきます。

めくっていただいて、12、13ページをお願いいたします。

令和元年度清須市下水道事業貸借対照表

令和2年3月31日について御説明いたします。

資産の部につきましては、1. 固定資産は、(1)有形固定資産のイの土地からホの建設仮勘定までの有形固定資産合計250億6千890万5千292円と(2)無形固定資産のイの施設利用権からハの電話加入権までの合計24億2千908万4千343円と(3)投資その他資産のイの出資金とロの長期前払費用の合計622万6千297円を合わせまして、固定資産の合計275億421万5千932円でございます。

2. 流動資産は、(1)現金預金、(2)未収金、(3)前払費用、(4)前払金を合わせました14億3千728万4千966円でございます。資産合計といたしまして、固定資産合計と流動資産合計を合わせました289億4千150万898円でございます。

次に、負債の部につきましては、3の固定負債は、(1)企業債125億5千116万5千472円と(2)その他固定負債9千445万7千934円の合計126億4千562万3千406円でございます。

4. 流動負債は、(1)企業債、(2)未払金、(3)未払費用、(4)引当金、(5)その他流動負債を合わせました9億6千196万891円でございます。

5. 繰延収益は、(1)長期前受金、収益化累計額を合わせた139億6千902万3千728円でございます。

負債合計は、固定負債合計126億4千562万3千406円、流動負債合計9億6千196万891円、繰延収益合計139億6千902万3千728円を合わせました275億7千660万8千25円でございます。

次に、資本の部につきましては、6. 資本金は8億2千850万7千円でございます。

7. 剰余金は、(1)資本剰余金、イの受贈財産評価額からハ、一般会計補助金までの合計9億8千991万2千890円と(2)利益剰余金のマイナス4億5千352万7千17円を合わせまして、合計額5億3千638万5千873円でございます。

資本合計は、6の資本金の8億2千850万7千円と7の剰余金合計5億3千636万5千873円を合わせました13億6千489万2千873円になります。

負債資本合計は、負債合計275億7千660万8千25円と資本合計13億6千489万2

千873円を合わせました289億4千150万898円になります。

以上で、説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方の挙手をお願いいたします。

加藤委員。

加藤 光則委員

企業会計になって非常にあれなんですけど、まず汚水のことで莫大なお金がかかっていますので聞きたいと思えますけれども、基本的には、令和7年度末までのアクションプランに基づいて整備が進められておるわけですけれども、この令和2年度から中期計画もまた新たに計画がされて出されたわけですが、計画に対して今どういう状況にあるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

アクションプランのほうはかなり背伸びした計画になっていたと思います。実際、経営戦略をつくるにあたりまして、若干、整備ペースを落とした形で今は進んでおります。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

会計年度までにはどういう状況にあって、新たに中期計画もつくられたわけですので、今、整備の状況はどういう状況にあるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

今、491ヘクタールで事業計画を取っておりまして、そのうちの今、整備済みの面積が295ヘクタールとなっております、約60%ぐらいの進捗率になっております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今、一生懸命やられておるのはよく分かります。

お聞きしますが、気になるのは、他会計繰入金についてであります。

この他会計繰入、アクションプランのときから中期計画をいろいろ立てておって、いろいろあるかと思いますが、一応、基準内のみとすることを目標にしているわけですが、どういうふうに移しているか伺います。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

一応、経営戦略の中では、基準外の他会計繰入金というのはできるだけ繰り入れないようにという形で計画を立てております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

当初、最初の計画では1億円か何かだったと思うわけですが、この間、それがどういうふうに移しておるのでしょうか。大体その目標内で収まってきておるかどうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

基準外の繰入れに関しましては、できるだけ抑える形で、目標でそこそこいっているかなというふうには感じております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

もう1つ、企業会計になっておって、消費税のことが非常に気になるわけであります。いろいろ見ますと、例えば、収益的支出の補助金、それから資本的収支でいえば出資金、この配分があるわけですが、企業会計においては、一般会計繰入金は収益的収支に補助金として繰り入れるものと資本的収支、出資金として繰り入れるものに区分できて、出資金に分類した場合は自己の資本金として経理されて、消費税法に規定されている特定収入には該当しないと。いろいろ出し方によって、今、節税対策もいろいろ考えられて、自治体がある在り方について、一般

会計繰入金が多額に上る場合は、この下水道関係の場合は消費税は繰出金の額に連動していくために企業会計化にすることによって消費税が減額されるということで、いろいろ期待もあるわけですが、そういったことも十分考えられて、今、行われておるのかということをお聞きしておきます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

企業会計化にすることによって消費税の節税効果というのもうたわっていますので、そのあたりは期待してやっていこうかなと思っています。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

消費税は額が大きいわけですので、やっぱり節税ということも大事になると思いますので、ぜひ、その辺も考えていただいて事業を進めていっていただきたいと思います。

それで、もう1つ、企業債の残高、最大150億円を目標にしているわけですがけれども、財政計画では7年度に150億円、これは中期の財政計画を見ると最大値が示されておるわけであり、これは裏返してみれば、令和7年度までの事業計画しか示されていないからだということも言えるわけです。財源に関する検討も先ほどの答弁で若干触れられましたけれども、進めながらやっていくんだということだと思いますが、過去3年の平均において、汚水処理の原価について、15円以上の回収率において経費の10%以上の乖離が生じたときは見直しを行うということもうたわれておったんですが、まだ始まって間もないですが、その辺は現在ではどんな状況にあるのかお聞きします。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

上下水、菅野です。

汚水処理にかかる費用をどんだけお客様からの使用料で賄えているのかということだと思うんですが、元年度にしますと、お客様から頂いた使用料が1億6千340万円ぐらいですね。汚水処理にかかった実際の経費が1億6千365万円ということで、経費回収率は99.87%、

ほぼ100%に近い形で回収できているというふうには見ております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

まだ、過去3年平均においてというまでもなく、100%に近いということを言われました。財政計画を見ながらということなんですけれども、中期計画も示されておるわけですが、7年度までの計画、今後、汚水の下水道整備が示されていないわけなんですけれども、いよいよ令和2年度になってきました。今後の進め方みたいなのは市民の皆さんにどういうふうに計画をあらわにしていくのかというのはどういうふうに考えられておみえでしょうか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

先ほども申しあげましたとおり、今、現事業計画は5年ごとに見直しをやるんですけども、5年先までの事業計画はホームページ上で一応地図に落として公開しておりますので、その辺あたりは分かるんじゃないかと思っております。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

加藤委員。

加藤 光則委員

しっかりと事業運営を行っていただいて、莫大な費用が今後かかるわけですので、運営のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

今ほとんど加藤委員のほうからお話がありましたので、私は1点だけ、先ほどの汚水の部分の今の収支のお話があったんですけども、下水道事業会計の中に雨水と汚水ってありますね。この関係で考えると、もともと雨水というのは公共でやるものですので、全額繰り出しであると。汚水は、繰り出し基準に基づく繰り出しと、あとは使用料が財源というふうに異なっているわけですね。そうした中で、先ほど委員からもあったように、今後、使用料がこの金額が妥当であるか

どうかとか、見直ししていくについても、この下水道企業会計の中で雨水と汚水というのは別で考えていかなきゃいけないと思うんです。先ほど汚水の話がありましたので、雨水のほうで収支を教えてくださいませんか。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

菅野課長。

上下水道課長（菅野 淳君）

収益的収支のほうで見ますと、雨水の処理負担金ということで一般会計から繰入れさせていただいております。その中身といたしましては、雨水ポンプ場の維持管理とか幹線関係の維持管理とか、あとは減価償却費とかいろいろあるんですけども、一応、一般会計から繰入れさせていただいた雨水処理負担金の中でポンプ場の維持管理とか幹線関係の維持管理にその中で使わせていただいております。そういうことでございます。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

林委員。

林 真子委員

今のお話ですと、きちっと分けてされているということで分かったんですけども、これはうちの場合ですと、100%分流ということであるとすると計算がしやすいというか、はっきり分かるわけですので、ぜひ、こういう視点を私たちも知らなければいけないですし、先進的自治体では公開しているようなところもあるんですね。うちは始めたばかりですけども、やっぱりこうしたときに汚水の分と雨水の分というのは、はっきりと教えていただきながら今後見ていかなきゃいけないのかなと思います。

これは始めたばかりですので、どう考えてもこの下水のほうは、普通、供用開始して30年以上たたないと黒字にはならないよと事業ではあると思います。それ以降にまた一般会計へ戻していくということになると思うんですけども、当分は非常に一般会計からの繰り出しというのがもちろん基準に基づいてですけども、続いていく。そうした中で、やっぱり使用料が適正であるから繰り出せるわけですので、この辺の見方として、ぜひ今後、雨水と汚水という観点で、本日は明快に言っていただきましたけれども、明快に管理していただきながら示していただくように、何らかの形でお願いしたいと思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（大塚 祥之君）

ほかによろしかったでしょうか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

これで質疑を終わります。

認定第6号 令和元年度清須市下水道事業決算認定について採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教委員会委員長 (大塚 祥之君)

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、認定第6号 令和元年度清須市下水道事業決算認定については、原案のとおり認定すべきものと決しました。

以上で、建設文教委員会に付託された建設部所管の議案についての審議は終了いたしました。

明日、午前9時半から、教育委員会所管について御審議していただきますので、よろしくお願い申し上げます。

これを持ちまして、本日は散会いたします。

早朝からの御審議お疲れさまでございました。

(時に午後 2時23分 散会)

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和2年9月9日

建設文教委員会委員長 大塚 祥 之